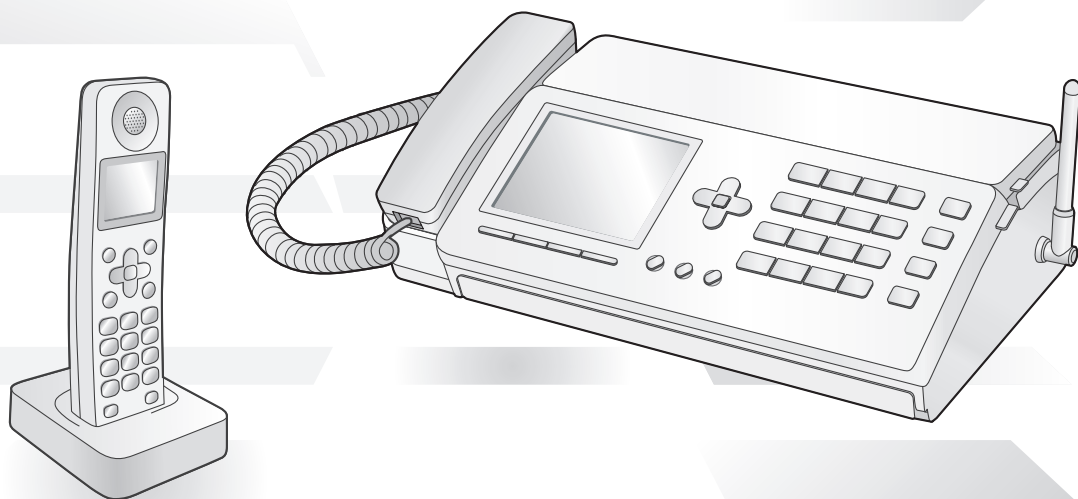


取扱説明書

NTTFAX P-266SDw/P-266SD



「NTTFAX P-266SDw/P-266SD」
技術基準適合認定品

このたびは、NTTFAX P-266SDw/P-266SDをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
ご使用前に「安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください」(P. 2~11ページ)を必ずお読みください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとにおいてお使いください。

ND ナンバー・ディスプレイ 対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ



ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。



NTT西日本用

もくじ

ご使用の前に

電話

電話帳

留守番

ファクス

コピー

便利な機能

デナイン
スプレー
プレイ

ときまつた

ご参考に

さくいん

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷した場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機が不要となった場合は、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

注意

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本商品は、お買い求め時には、国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認をしてください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合がありますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- 当社の電話交換局から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 電話網と本商品の間に、アダプタ（ナンバー・ディスプレイアダプタ、ターミナルアダプタなど）が接続された場合、接続される通信機器によっては電話網の仕様と完全に一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品に保存されている内容は、本商品の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申しつけください。

危険

- 充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
 - ・ 火の中や水の中に投入したり、加熱しない
 - ・ 直接はんだ付けしない
 - ・ 赤（プラス）と黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない
 - ・ 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードをはさまない
 - ・ 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷をつけない
 - ・ 水や海水につけたり、ぬらさない
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品内部や電源プラグ、電話機コードのモジュラプラグ、電話用コンセントに異物や水などが入った場合は、電源プラグ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、電話機コードのモジュラプラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。
- 万一、内部に水やペットの尿などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- インクリボンの交換や原稿づまり、お手入れなどで、操作パネルを開けたときに、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。異物を落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、取り除いてご使用ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。

警告

- 本商品や電源プラグ、電話機コード、電話用コンセントのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源プラグ、電話機コードのモジュラプラグ、電話用コンセントに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源プラグ、電話機コードを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所。
 - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
 - ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所。
 - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
 - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を付けてください。(アース線は、付属していません。アース線をご用意のうえ接続してください)
 - ・ アース線が取り付けられるところは次の部分です。
 - ▷ 電源コンセントのアース端子
 - ▷ 銅片などを65cm以上地中に埋めたもの
 - ▷ 接地工事(第D種)が行われている接地端子
 - ・ 次のようなところには、絶対にアース線を取り付けしないでください。
 - ▷ ガス管
 - ▷ 避雷針
 - ▷ 水道管や蛇口
 - ▷ 電話専用アース線
- AC100V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。
- 電源コードおよび電話機コードが傷んだ状態(芯線の露出、断線など)のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグ、電話機コードのモジュラプラグを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器は、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器の充電端子部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。
- 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動するときは、電源プラグ、電話機コードを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグ、電話機コードが電源コンセント、電話用コンセントに差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

警告

- 本商品や電源プラグ、電話機コード、電話用コンセントに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源プラグおよび電話機コードの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。
 - ・ 親機と子機間、子機と別の子機間は約3 m以上離してご使用ください。
 - ・ 同じ電話回線に他のコードレスホン、またはコードレス電話機付ファクスなどを接続すると、電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。
 - ・ 隣接する電話回線2本以上に、それぞれコードレスホン、またはコードレス電話機付ファクスなどを1セットずつ接続して使用する場合は、距離を十分に取って使用できる位置を確認してからお使いください。
- 親機の背面部には通風孔がありますので、必ず壁から10cm以上離してください。通風孔をふさぐと親機の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

警告

- 本商品は高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医療機器の近くや病院内など使用を制限された場所では使用をしないでください。
- 本商品の底面部は、温度が上昇しますのでカーペットやソファーなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。
- 子機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電池パックを外すか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。
- 子機をねじったり、重いものを乗せたり、(ポケットに入れたままイスなどに)強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・けが・やけどの原因となることがあります。
- 電池パックは定期的に交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、電池パックの破損による漏液の原因となることがあります。定期交換については、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 点検・清掃(お手入れ)は、必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜いて(記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから)始めてください。また、水滴がついたときは、乾いた布でふき取ってください。感電・やけどの原因となることがあります。
- 歩行中に子機を絶対に操作しない(見ない)でください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

注意

お使いになる前に 設置環境

- 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- キャスター付きなどの台に設置されるときは、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 親機のまわりには物を置かないでください。原稿づまりや記録紙づまりの原因となることがあります。
- 本商品の底面部にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 寒い場所や結露の発生しやすい場所に置かないでください。誤動作の原因となることがあります。

お使いのとき

- 長期不在時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、子機の電池パックも取り出してください。
- インクフィルムの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときには、突起物に手を引っかけたり、開閉部で手を挟むなど、けがの原因となることがあります。ご注意ください。
- 記録紙をセットするときや紙づまりの処理をするときは、紙の端で手を切ったりしないようにご注意ください。
- 紙づまりの処理などで本商品内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が本商品内部に触れないようにしてください。やけど・感電の原因となることがあります。
- 給紙ローラや記録紙ローラのお手入れには、中性洗剤を使用しないでください。ローラ類を傷める原因となることがあります。

注意

お使いのとき

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。
- 小さなお子様は原稿挿入口や記録紙排出口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 小さなお子様は電池パックの交換を行わないようご注意ください。
- 年に一度くらいは内部の清掃を当社のサービス取扱所にご相談ください。
本商品の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災や事故の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 表示部（画面）へ物を落としたり、強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので押さないでください。破損・けがの原因となることがあります。

充電器の取り扱いについて

- 充電器にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

STOP お願い

置き場所について

- 温度が急激に変化する場所、冷え切った部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本商品の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となることがあります。
- 高温、多湿、低温の場所には置かないでください。いつも良い条件でお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。
温度 5～35℃ 湿度 30～85%
・ 温度が35℃のときは湿度70%以下、湿度が85%のときは温度30℃以下でご使用ください。
- 金属製家具などの近くは避けてください。
・ 電波が飛びにくくなります。
- 以下のようなところには置かないでください。
・ クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接当たる場所
・ ほこりや振動が多い場所
・ 換気の悪い場所
・ 揮発性可燃物やカーテンに近い場所
- トラックや車、オートバイ、電車が近くを通ったとき、雑音が入ったりする場合があります。
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコンなど）。
・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・ 放送局や無線局などが近く雑音が大きいたときは、親機の設置場所を移動してみてください。妨害電波が強すぎるときは子機が使用できないことがあります。

STOP お願い

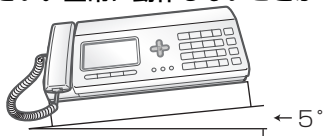
- 本商品の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。このような現象が本商品の影響によると思われる場合は、本商品の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
・ 本商品をテレビなどから遠ざける。
・ 本商品またはテレビなどの向きを変える。
- 周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。
・ 親機と子機間の内線通話をして、電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。
- 本商品を2セット以上お使いになるときは、お互いの距離をとって設置してください。電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。
- 親機のアンテナは床面に対して垂直に立ててください。アンテナの状態が悪いと、電波の届く範囲が狭くなったり、雑音が入ることがあります。
・ 接続などの準備のあと、親機と子機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてから設置してください。
・ 子機では、操作をする前に、電波の状態を確認して、なるべく電波の強い場所でかけてください。また、お話しは、なるべく電波の強い場所で行ってください。
- 本商品の操作、消耗品の交換、日常点検など、本商品を正しく使用し機能を維持する作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。



安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

STOP お願い

- 本商品は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。



- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなることがあります。

取り扱いについて

- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の变色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、電話機コードのモジュラプラグ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品の上に重い物をのせたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- コネクタに異物を差し込んだり、端子面を触らないでください。故障の原因となることがあります。
- 通信やコピーなどの動作中に、電源プラグを抜いたり、本商品の操作パネルを開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 親機および充電器の電源プラグを抜いたままにしないでください。

親機

- ・ 電話をかけたり受けたりすることも、ファックスを送受信することもできません。
- ・ 留守番機能や子機、ドアホンが使えません。
- ・ ナンバー・ディスプレイおよびキャッチホン・ディスプレイを利用した機能が使えません。

充電器

- ・ 子機が充電できません。
- ・ 子機のクイック通話が設定されている場合は、充電中に充電器の電源プラグが外れると子機はお話中の状態となります。
- 子機を汚れやすいところに置かないでください。

STOP お願い

記録紙について

- 記録紙およびインクフィルムは当社指定品をご使用ください。指定品以外の記録紙やインクフィルムをお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。指定品につきましては、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- 直射日光に当てない、また、窓際に置かないようにしてください。変色の原因となることがあります。
- 高温・多湿の場所には置かないでください。変色の原因となることがあります。
- 薬品・油などを付けしないでください。変色、印字消えの原因となることがあります。
- 粘着テープ、のり、接着剤などを付けしないでください。変色の原因となることがあります。
- 青焼紙と重ねて保管しないでください。変色の原因となることがあります。

その他

- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- 法律によりコピーが禁止されているものもあります。コピーの禁止についてをよくお読みの上、ご使用ください（☎ 105 ページ）。
- 本商品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、子機を使つての通話は、電波を利用している関係上、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。重要な通話の際には、親機のご利用をおすすめします。
- 本商品は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。
 - ・ 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
 - ・ 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
 - ・ 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
 - ・ 子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
 - ・ めれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。

STOP

お願い

- キャッチホンをご契約になる場合には、次の点にご注意ください。
 - ・ ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
 - ・ また上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンの異常ではありませんのでご了承ください。
 - ・ キャッチホンⅡをご利用になり、割り込み回数を「0」回に設定していただくと、通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
 - ・ 通話中にキャッチホンが入ってきたときは、必ずキャッチボタンを押して切り替えてください。他の方法ではうまく切り替わらないことがあります。
- しわ、折れ、破れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となることがあります。
- 残った記録紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。
- 紙づまりのとき、記録紙は破れないように慎重に取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れたときは、紙片を本商品の中に残さずにすべて取り除いてください。

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

廃棄（または譲渡、返却）されるときは

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を、下記の操作で消去または変更願います。

操作等	参照ページ
子機の電話帳を消去する	73
子機の着信記録を消去する ※	140
子機の登録内容を初期化する	171
親機の登録内容を初期化する	171
インクリボンの廃棄	34

※ ナンバー・ディスプレイご利用時のみ

知りたいこと もくじ

よくお使いになる機能やお問い合わせの多い内容をまとめました。
通常のもくじは14～15ページをご覧ください。

別売品について

181 別売品一覧

取り付けについて

31 電話回線の種別を
手動で設定するには？

40 日付・時刻を設定するには？

ファクスの受信について

97 ファクスを電話に出て受信
するには？

81 ファクスを電話に出ないで
受信するには？（留守設定）

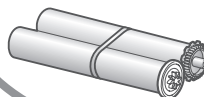
99 ファクス専用で使うには？
（FAX専用）

96 受信できるファクスの
枚数・件数は？

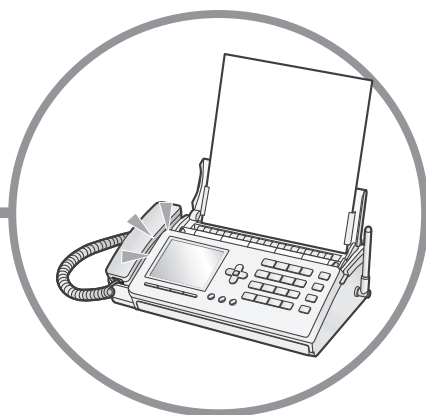
100 受信したファクスを画面で見る
には？（見てからプリント）

102 受信したファクスを
プリントするには？

使えるインクリボンの
品番は？



ファクシミリ用
P型A4インク
リボン（12）



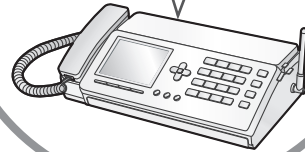
ファクスの送信について

- 89 相手の方と電話でお話ししてから
ファクスを送信するには？
- 92 お話ししないでファクスを
送信するには？

迷惑電話への対策について

- 143 非通知の相手や公衆電話からの
電話を受けないようにするには？
- 144 特定の番号からの電話を受けない
ようにするには？（特定番号お断り）
- 146 特定の番号からの電話のみ受ける
ようにするには？（選んで着信）
- 150 迷惑電話をお断りするには？

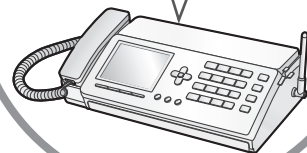
この電話はお受けする
ことはできません…



便利な機能について

- 66 電話番号を親機の電話帳に登録
するには？
- 71 電話番号を子機の電話帳に登録
するには？
- 81 留守のときに用件を録音する
には？（留守録音）
- 133 電話をかけてきた相手の方の
番号を表示させるには？
（ナンバー・ディスプレイ・サービス）
- 107 携帯電話へおトクにかけるには？
（携帯通話設定機能）

ただいま留守にして
おります…



もくじ

安全に正しくお使いいただくために 必ずお読みください	2
知りたいこと もくじ	12
もくじ	14

ご使用の前に

特長	16
付属品の確認	18
ご使用の前に知っていただきたいこと	19
親機各部のなまえ	22
子機各部のなまえ	24
液晶ディスプレイ	25
親機を接続する	27
電話回線（ダイヤル／ブッシュ）の種別を 手動で設定するときは	31
インクリボンを確認する／交換する	32
記録紙のセットのしかた	35
子機を充電する／電池パックを交換する	36
操作ガイド	39
日付と時刻を設定する	40
自分の番号・名前を登録する	42
音の設定を変える	45

電 話

電話をかける・受ける・かけ直す	51
親機と子機、子機と子機の間でお話する （内線通話）	57
電話をとりつぐ／3人で電話でお話する （3者通話）	59

電 話 帳

電話帳で電話をかける	62
電話帳の登録／修正／消去	66
親機の電話帳を音声で読み上げる （おしゃべり電話帳）	69
文字を入力する	74
ワンタッチダイヤルを使う（親機）	77

親機と子機、子機と子機の間で 電話帳を転送する	79
----------------------------	----

留守番電話

留守に設定する／解除する	81
自分で応答メッセージを録音する	85
録音されている内容を再生／消去する	86

ファクス

ファクスを送る	89
ファクスの受けかた	95
ファクスを受ける	97
FAX 専用にする（着信音を鳴らさずに受ける）	99
受信したファクスをディスプレイで見る （見てからプリント）	100
メモリー受信したファクスをプリント／消去する	102
F ネット（ファクシミリ通信網サービス）を 利用する	104

コ ピ ー

コピーする	105
-------	-----

便利な機能

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する	106
携帯通話設定機能を利用する	107
1つの電話回線で複数の番号を使う （モデムダイヤルインサービス）	109
子機を増やす	116
伝言メッセージを録音する（おかえりボタン機能）	117
通話内容を録音する（今から録音）	121
音声メモを録音する（メモ録音）	123
通話内容をさかのぼって録音する（戻って録音）	124
録音した内容を通話中に再生する	127
子機をもっと便利に使う	128
ドアホンと話す（ドアホン通話）	130

片手でスルッと しまえるトレイ

ファクシミリ機能を使わないときは、記録紙トレイをスッキリ収納できます。お部屋の雰囲気をこわさず、コンパクトに置けるだけでなく、ホコリが防げてお掃除もラクラクです。

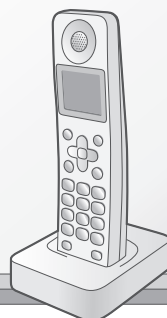


受信ファクスを 液晶で確認 見てからプリント (※100ページ)

受信したファクスを大きな3.8型「くっきりホワイト液晶」で確認。必要なものだけ印刷できるので用紙代やインクリボン代を節約できます。さらに見やすいサイズに調整できる13段ズーム機能付きで便利です。

見やすい！ 使いやすい！ 漢字 デジタルコードレス子機

- ・ バックライト付き漢字表示液晶で見やすい
- ・ 大きなボタンで使いやすい
- ・ 置くだけでちゃんと充電できる「すっきり充電」（無接点充電方式）を採用。



電話も操作もわかりやすい！ 音声お知らせ機能

● 誰からコール (P.134ページ)

※ナンバーディスプレイ契約が必要です

親機も子機もかかってきた相手の名前を音声でお知らせするので、遠くからでも電話に出る前に相手がわかり安心です。

● おしゃべり電話帳 (P.69ページ)

※親機のみです

電話帳で相手を選ぶときに名前を音声で読み上げます。画面と音声でしっかり相手を確認できます。

● 液晶&音声操作ガイド

音声とイラストでエラー解除や操作方法をわかりやすく説明します。

※ 音声お知らせ機能の音声は、音声合成システムで作ったものです。肉声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。



迷惑電話をお断り 帰宅もお知らせ！ セキュリティ機能

● おかえりボタン (P.117ページ)

※外出先からの録音はナンバーディスプレイ契約が必要です

親機や外出先の携帯電話から伝言メッセージを録音することができます。点滅しているおかえりボタンを押すだけで伝言メッセージの再生ができます。

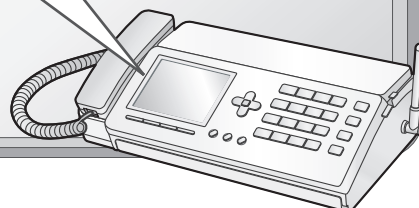
● 戻って録音、今から録音 (P.121~122、124~126ページ)

ボタンを押す前の会話を45秒さかのぼって録音できる「戻って録音」
ボタンを押した後の会話を、証拠やメモ代わりに録音できる「今から録音（通話録音）」

● 迷惑電話拒否機能 (3種類) (P.150~151ページ)

・チャイムでお断り／メッセージお断り／録音でお断り

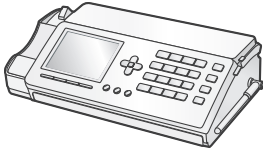
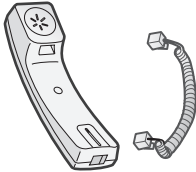
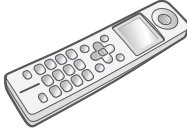
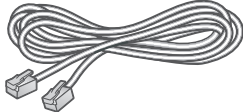
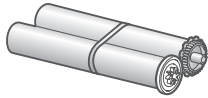
この電話は、
お受けすることが
できません…



付属品の確認

次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡ください。

使用の前に
付属品の確認

親機 1台 	受話器 受話器コード 1個 1本 	子機 P-266SD : 1台 P-266SDw : 2台 	充電器 (子機用) P-266SD : 1個 P-266SDw : 2個 
電池カバー (子機用) P-266SD : 1個 P-266SDw : 2個 	電池パック (子機用) P-266SD : 1個 P-266SDw : 2個 	電話機コード (約2m) 1本 	インクリボン (33m) 1本 ●インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。 
●インクリボンは、必ず当社の指定品をお使いください (☞ 181ページ)。 ■ファクシミリ用P型A 4 インクリボン (12) (33m×1本入り)			
取扱説明書 (本書) ※ 1冊		保証書 1部	
NTT通信機器お取扱相談センターシール ... 1枚		記録紙 (A4普通紙) 10枚	

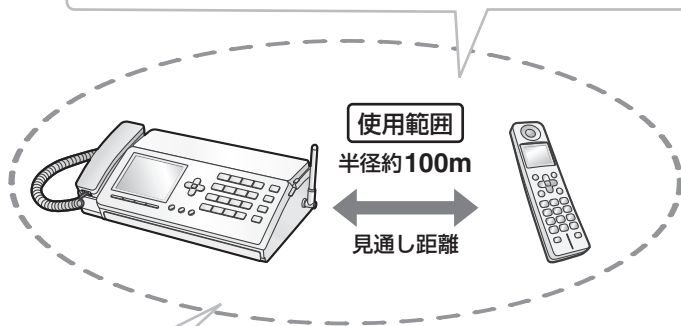
※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

ご使用の前に知っていただきたいこと

本商品の取り扱いについて

■ 親機と子機の間に障害物のある場所で使わない

マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。

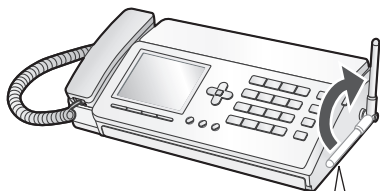


■ 子機の使用範囲を確かめる

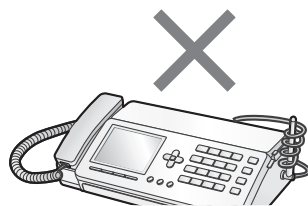
電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100mです（アンテナを立てた状態）。内線通話（☎57～58ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。

■ 親機のアンテナは、立ててお使いください

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは、必ずまっすぐに立てて、お使いください。



まっすぐに立てる



■ アンテナにコードを巻き付けない

着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。

■ 本商品を設置するときは

電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、他の無線機器に障害を与えたりすることがあります。電波干渉を防ぐために、下記の機器からは、親機・子機とも約3m以上離してください。

- 電子レンジ ●無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
- ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- アマチュア無線局 ●工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム ●マイクロ波治療器
- 2.4GHzコードレス電話機
- その他、BluetoothTM対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

ご使用の前に知っていただきたいこと

■ 子機はいつも充電器に戻しておく

充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。



■ 当社指定の2.4Gデジタルコードレス電話機(子機)以外の電話機やPHSは接続できません。

■ 子機の電波について

子機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です
移動体識別装置の帯域が回避できません。

変調方式：FH-SS方式 与干渉距離：80m

本商品には、それを示すマークが貼付されています。

2.4FH8

本商品の使用周波数に関わるご注意

本商品の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

- 電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
- 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- アマチュア無線局(免許を要する無線局)

本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本商品から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、本商品の電源プラグを抜いて、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。



■ “傍受” にご注意ください

本商品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、子機を使つての通話は、電波を利用している関係上、第三者が故意または偶然に通話を受信することもあります。重要な通話の際には、親機のご利用をおすすめします。

ご使用の前に知っていただきたいこと



■ 子機に雑音が入ることがあります

- 磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けると、通話中に声かとぎれたり、通話できなくなることがあります。
- テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、AV・OA機器などの近くに設置すると、電波雑音の影響を受けて子機の呼出音が鳴らないことがあります。
これらの機器からは3m以上離すか、親機を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。
- アンテナの近くに、AC アダプター・充電器・他の機器の電源コードなどを近づけると、声かとぎれたり聞き取りにくくなる場合がありますので、離してください。
- 本商品の近くに携帯電話の充電器やACアダプターを置くと、声かとぎれたり呼出音が鳴らないことがありますので、離してください。
また、親機や充電器とは別の電源コンセントに接続してください。
- 親機のアンテナは垂直に立てた状態でお使いください。アンテナの状態が悪いと、電波が飛びにくくなり、電話の声かとぎれることが多くなります。
- 動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ると、声かとぎれたり雑音が入ることがあります。
設置場所を変えてみてください。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては通話中に雑音が入ることがあります。

■ 受話口やスピーカーの穴をふさがない

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ 送話口（マイク）をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ 子機の着信音は、親機と同じタイミングでは鳴りません

電話がかかってくると、子機が親機より遅れて鳴ったり、早く鳴ったりします。

■ 取り扱いについて

ご近所で子機（コードレス電話機）が使われているときは、正しく動作しないことがあります。こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ 使用中に温かくなることがあります

親機の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなることがありますが、故障ではありません。

ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機が不要となった場合は、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にご連絡いただければ、「機器使用料」は不要となります。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。

This machine is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

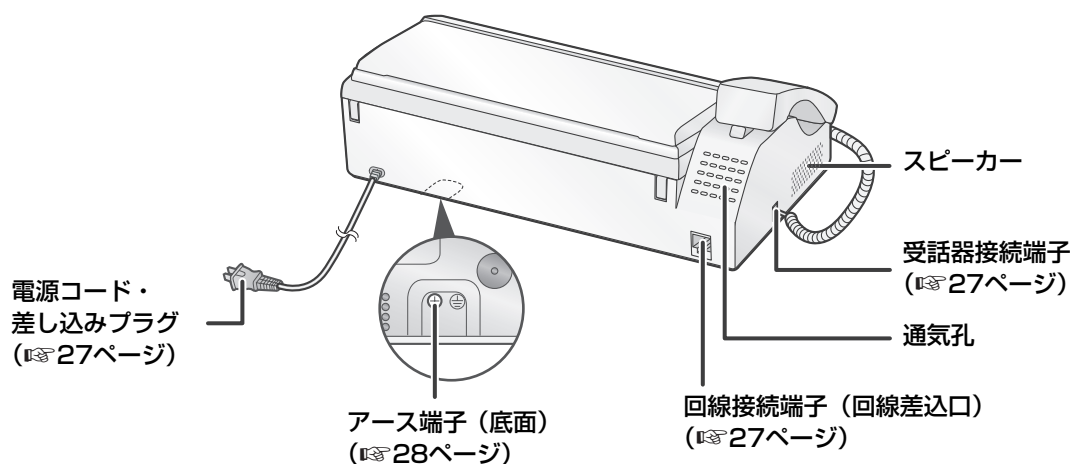
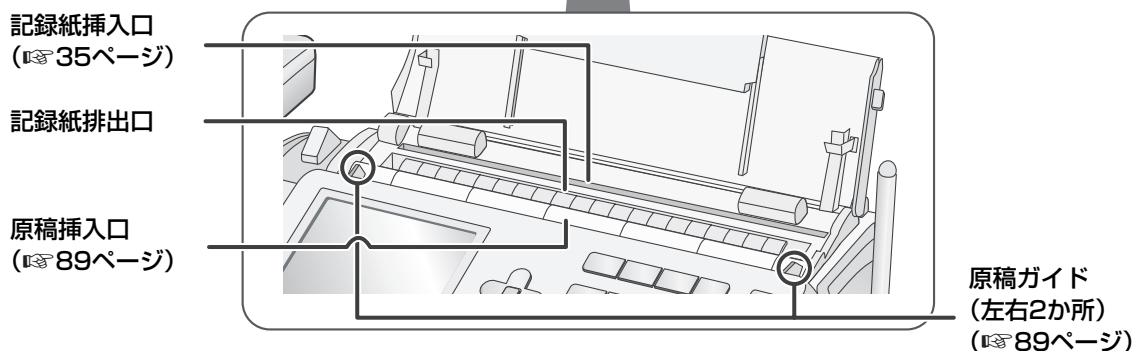
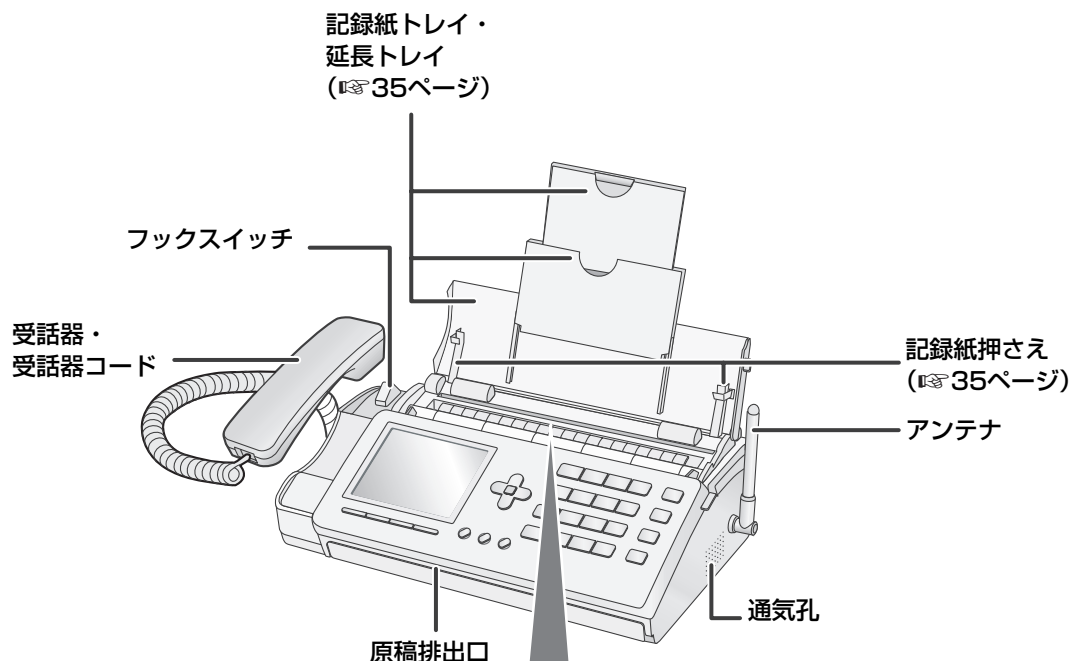
この装置について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

親機各部のなまえ

使用の前に

親機各部のなまえ



親機各部のなまえ

使用の前に

親機各部のなまえ

ダイヤルボタン

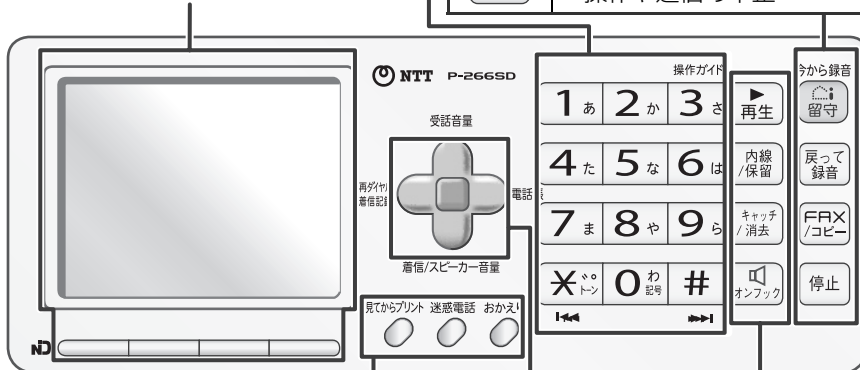
電話をかける／文字入力／登録操作など

  ボタンは通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能ボタンです。

操作ガイド 3 さ	操作ガイド (☎ 39ページ)
 トーン II	録音を聞き直す (☎ 88ページ) プッシュホンを利用する (☎ 52ページ)
 II	次の録音へとばす (☎ 88ページ)

液晶ディスプレイ (☎ 25ページ)

今から録音 	留守／今から録音ボタン ・留守の設定 (☎ 81ページ) ・留守の解除 (☎ 83ページ) ・今から録音 (☎ 121ページ)
戻って録音 	戻って録音ボタン ・戻って録音 (☎ 124ページ)
FAX/コピー 	FAX／コピーボタン ・ファクスの送受信 (☎ 89～92、97ページ) ・メモリー受信したファクスをプリント (☎ 102ページ) ・コピー (☎ 105ページ)
停止 	停止ボタン ・操作や送信の中止



見てからプリント 	見てからプリントボタン ファクスをメモリー受信すると、ランプが点滅します。 ・見てからプリント (☎ 100ページ)
迷惑電話 	迷惑電話ボタン ・チャイムでお断り (☎ 150ページ) ・メッセージでお断り (☎ 150ページ) ・録音でお断り (☎ 150ページ) ・選んで着信機能 (☎ 146～148ページ)
おかえり 	おかえりボタン 伝言メッセージが録音されると、ランプが点滅します。 ・おかえりボタン機能 (☎ 117～119ページ)

再生 	再生ボタン ・録音再生 (☎ 86ページ) ・通話中再生 (☎ 127ページ)
内線/保留 	内線／保留ボタン ・内線通話 (☎ 57ページ) ・通話の保留 (☎ 52ページ)
キャッチ/消去 	キャッチ／消去ボタン ・各種消去 ・キャッチホン (☎ 136ページ)
オンフック 	オンフックボタン ・受話器を置いたままダイヤル (☎ 52ページ)

 (マルチファンクション) キー／ (決定) ボタン

・項目の選択、決定など

	上を押す ・受話音量変更 (☎ 46ページ)		左を押す ・再ダイヤル (☎ 54ページ) ・着信記録 (☎ 137ページ) ・待ち時間 (ポーズ) の入力 (☎ 68ページ)
	下を押す ・着信音量変更 (☎ 45ページ) ・スピーカー音量変更 (☎ 46～47ページ)		決定ボタン ・選択した項目の決定
	右を押す ・電話帳 (☎ 62ページ)		

・ キーや ボタンの操作は、本書では上記のように略図で示しています。

上下いずれかを押すときは、左右いずれかを押すときはと示しています。

点灯(点滅)するボタンは
今から録音 
見てからプリント 
おかえり 
の3つです。

子機各部のなまえ

前面

 (マルチファンクション) キー／

 (機能／決定) ボタン

・項目の選択、決定など

	上を押す ・受話音量変更 (☎ 50ページ)
	下を押す ・スピーカー音量変更 (☎ 50ページ)
	左を押す ・再ダイヤル (☎ 55～56ページ) ・着信記録 (☎ 138～139ページ) ・待ち時間(ポーズ)の入力 (☎ 73ページ)
	右を押す ・電話帳登録 (☎ 71～72ページ) ・電話帳検索 (☎ 65ページ)
	機能／決定ボタン ・選択した項目の決定 ・機能メニューの呼出 ・ファクスの送受信 (☎ 91、98ページ) ・通話中の録音再生

 キーや  ボタンは、本書では上記のように略図で示しています。

上下いずれかを押すときは  、左右いずれかを押すときは  と示しています。

通話ボタン

・電話をかける・受ける (☎ 51～53ページ)

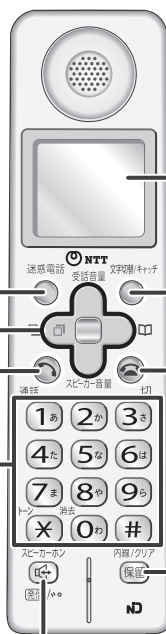
ダイヤルボタン

電話をかける／文字入力など

	録音を聞き直す (☎ 88ページ)		録音の早聞き (☎ 88ページ)
	次の録音へとばす (☎ 88ページ)		ブッシュホンを利用する (☎ 52ページ)

迷惑電話ボタン

- ・チャイムでお断り、メッセージでお断り、録音でお断り (☎ 151ページ)
- ・戻って録音 (☎ 124ページ)
- ・今から録音 (☎ 121～122ページ)



液晶ディスプレイ
(☎ 26ページ)

文字切替／キャッチ
ボタン

- ・文字切替 (☎ 74ページ)
- ・キャッチホン (☎ 136ページ)

切ボタン

- ・通話の終了
- ・登録メニューの終了

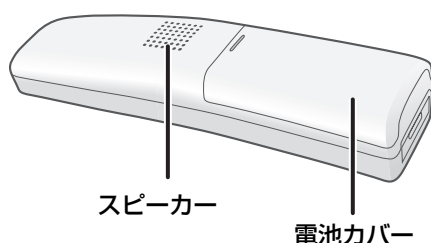
保留／内線／クリアボタン

- ・保留 (☎ 52ページ)
- ・内線通話 (☎ 58ページ)
- ・文字消去 (☎ 76ページ)

スピーカーホンボタン

- ・スピーカーホン通話 (☎ 52ページ)
- ・受話通話 (☎ 52ページ)

背面

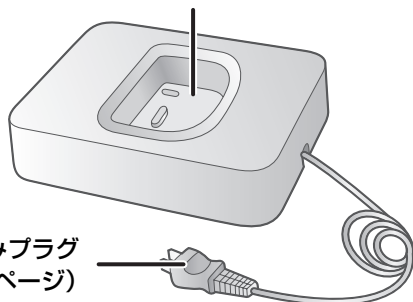


スピーカー

電池カバー

充電器

充電部
(☎ 37ページ)



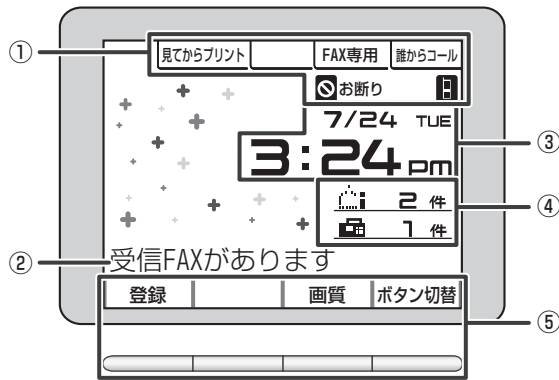
差し込みプラグ
(☎ 37ページ)

液晶ディスプレイ

親機や子機の液晶ディスプレイの表示について説明します。

親機

約3分間、何も操作をしないと、節電のため、ディスプレイ表示が消えます。いずれかのボタンを押すと、ふたたび通常の表示に戻ります。メッセージがある場合は、バックライトのみが消灯します。



設定状態表示

見てからプリント または メモリー受信、記録紙受信

ファクス受信方法の設定 (☎ 173ページ) を表示します。

FAX専用 または 選んで着信

FAX専用に設定されているとき (☎ 99ページ)、または「選んで着信」が設定されているときに表示します (☎ 146～148ページ)。

着信音 または 誰からコール

着信音を鳴らさない設定のとき、または「誰からコール」が設定されているとき (☎ 134ページ) に表示します。

お断り

各種の着信お断り機能 (☎ 143～144ページ) が設定されているときに表示します。

携帯通話設定

携帯通話設定 (☎ 107～108ページ) が設定されているときに表示します。

② **エラー／メッセージ表示** (☎ 167～169ページ)
各種のメッセージを表示します。

③ **日付・時刻表示**

日付・時刻を表示します。

メモリー表示

留守録音件数表示

留守録音やメモ録音の件数を表示します。

メモリー受信件数表示

メモリー受信しているファクスの件数を表示します。

ソフトボタン名表示／ソフトボタン

ここでは、「登録」や「着信記録」のように、そのとき使用できる機能の名称が表示されます。表示の下ソフトボタン () を押すと、その機能を使用できます。

ソフトボタンを使った操作は、以下のように表記しています。

例：「登録」という画面表示の下の () を押す
→ 登録

また、ボタン切替 を押すと、ソフトボタンがワンタッチダイヤルボタンに切り替わり、かんたんに電話をかけることができます (☎ 78ページ)。

液晶濃度調整

液晶ディスプレイの表示濃度を調整することができます。

① 登録 を押す

② 7 を押す

③ 濃度調整 で濃度を調整する

<液晶濃度調整>

淡い ■ 濃い

④ 決定 を押す

⑤ 停止 を押す

※ 図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

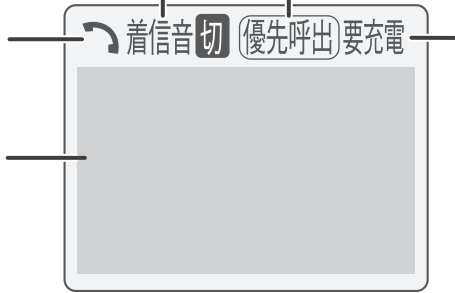
子機

着信音を「切」に設定しているときに表示します。

優先呼出を設定しているときに表示します。

通話ボタンを押すと表示します。

時刻や電話番号、子機番号や使用者名（設定したときのみ）、通話時間などを表示します。



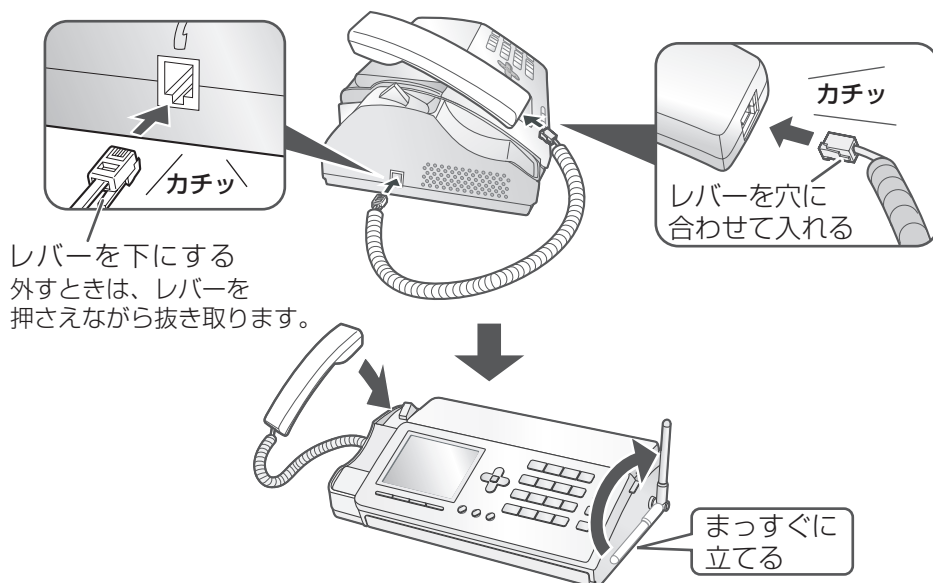
電池パックの残量が不足しているときに表示します（ 36ページ）。

※ 図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

親機を接続する

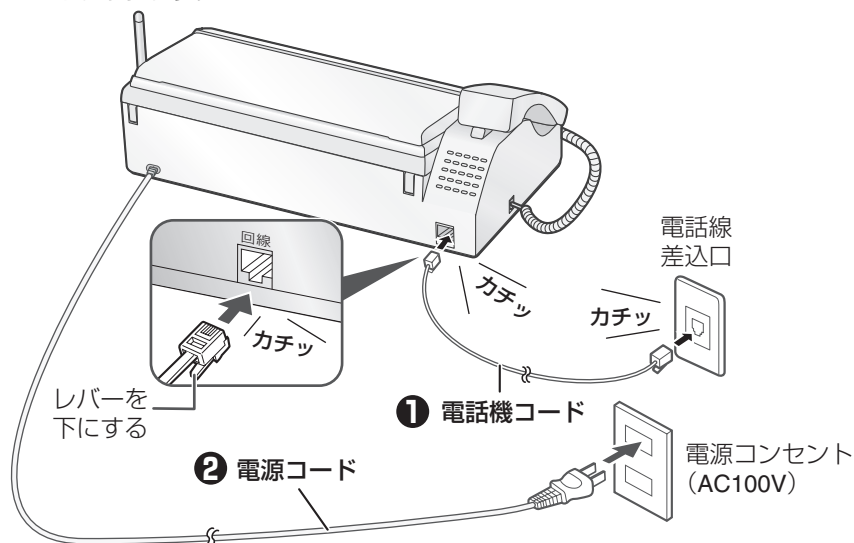
親機を接続する

1 受話器を取りつけ、アンテナを立てる



2 電話機コードを接続したあと (①)、電源コードを接続する (②)

必ず電話機コードを電源コードより先に接続してください。順序を変えると、電話回線の種類が正しく設定されないことがあります。



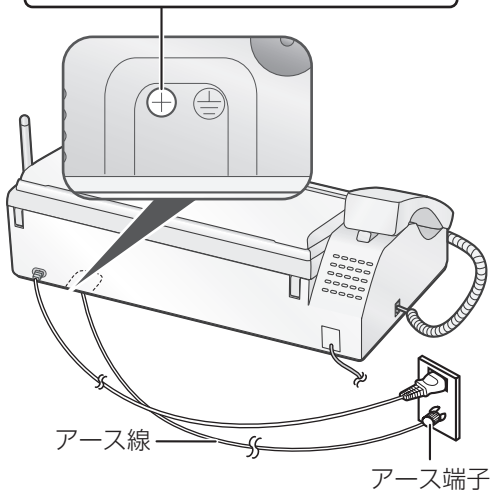
電源コードを接続すると、日付・時刻の設定画面が表示されます (☎ 29ページ)

アース端子について

アース端子（本体の底面にあります）

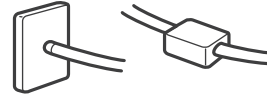
万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線を底面のアース端子へネジ止めします。

アース線は、付属していませんので市販のものをご購入ください。

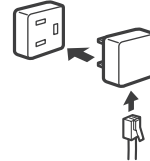


電話線コンセントのタイプについて

直接配線（ローゼット／プレート）の場合、資格者の工事が必要です。



また、3ピンプラグ式コンセントの場合、詳しくは当社にご相談ください。



構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンへ接続するとき

ホームテレホンとは

電話回線1本で複数の電話機を設置できて、内線通話などでもできる家庭用の簡易交換機です。

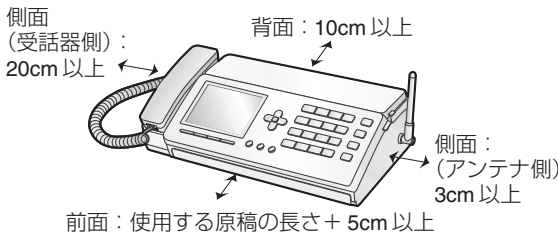
ビジネスホンとは

電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

- 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は工事が必要です。
- ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、設定を[使用しない]にしてお使いください（※132ページ）。
- 本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えられないことがあります。

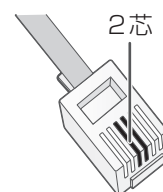
設置について

本商品の操作、消耗品の交換、日常点検などの作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。



●お知らせ●

- 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- 1つの電話回線を他の電話機やファクシミリとブランチ式（並列）に接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。
- 電話機コード（6極2芯）は、必ず付属のものをお使いください。

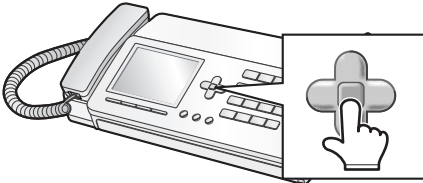


日付・時刻を設定する

電源コードを接続すると、右記の画面が表示されます。画面にしたがって設定してください。

日付・時刻を設定してください。[決定]で設定に入ります。

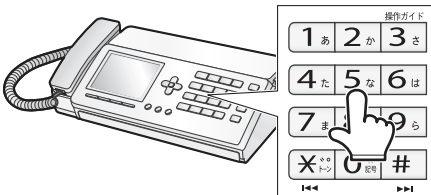
1 を押す



2 ダイヤルボタンで日付を入力する

例：

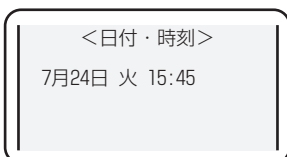
0	わ	7	ま	0	わ	7	ま	2	か	4	た
2007年		7月		24日							



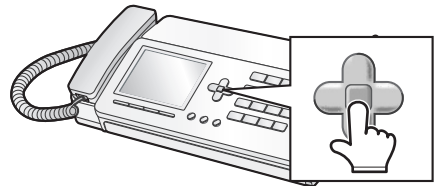
3 ダイヤルボタンで時刻を入力する (24時間制)

例：

1	あ	5	な	4	た	5	な
午後3時		45分					

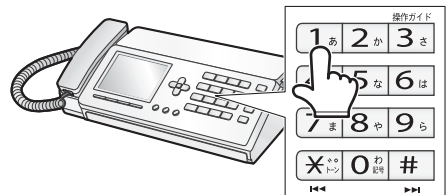


4 を押す



日付・時刻を入力、または入力をキャンセルすると、携帯通話設定の設定画面になります (次ページ)

5 ダイヤルボタンで「ひかり電話利用」の項目を選択する



○ ひかり電話をご利用のとき

1	あ
---	---

 を押す → **6** へ

○ ひかり電話をご利用でないとき

2	か
---	---

 を押す → 次ページ「携帯通話設定をする」へ

6 自動的に電話回線種別が設定される

・途中でやめるとき:

停止

 / 1つ前に戻るとき:

取消

 日付・時刻を設定し直すときは

途中で間違えて設定してしまったり、日付、時刻を間違えて設定してしまったときは、40ページを参照して、あらためて設定し直してください。

● お知らせ ●

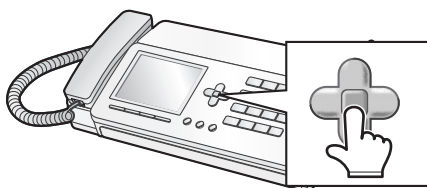
- 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
- 日付を設定すると、曜日は自動的に設定されます。年月日・時刻・曜日は送信したファクスにプリントされます。

携帯通話設定を設定する（ひかり電話では使用できません）

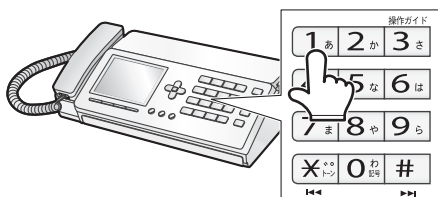
電源を入れて時刻を入力、または入力をキャンセルしたあと、ひかり電話の利用を「いいえ」と選択した場合、右記の画面がディスプレイに表示されます。ディスプレイの指示のとおり操作すると、「携帯通話設定（107ページ）」を設定することができます。携帯通話設定を利用しないときは、**中止**を押します。

携帯電話に電話をかける時
自動で0039（NTT西日本）
を付けてダイヤルをします
[決定]で設定に入ります
中止

1 を押す



2 ダイヤルボタンで「IP電話利用」の項目を選択する



○ IP 電話（ひかり電話などを除く）
をご利用のとき

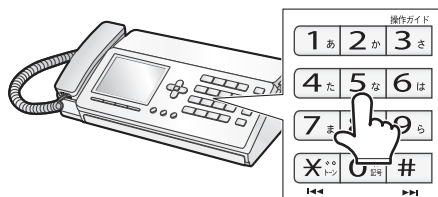
1 あ を押す → **3** へ

○ IP電話をご利用しないとき

2 か を押す → **5** へ

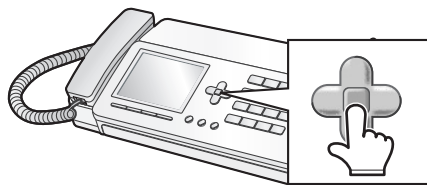
・ IP電話を利用していないときは、[IP電話利用] を [なし] にしてください。

3 ダイヤルボタンで、ご利用のIP電話の「加入電話選択番号」を入力する（最大6ケタ）



・「加入電話選択番号」とは、IP電話機能を解除して、一般電話回線を選択するために必要な番号です。

4 を押す



5 自動的に電話回線種別が設定される

・途中でやめるとき：**停止**

・1つ前に戻るとき：**戻る**

・一度設定またはキャンセルしたときは、2回目からはこの画面は表示されません。
設定しなおしたいときや解除したいときは、107～108ページをご覧ください。

電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別を手動で設定するときは

電話がかかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。また、回線の状態によっては、自動的に設定できないときがあります。そのときは、あらためて回線種別を設定してください。

また、10PPS回線をご利用の方も、この設定で10PPSに変えてからお使いください。

○20PPSにする

- ① を押す
- ②    と順に押す
- ③ を押す

○トーン（プッシュホン）にする

- ① **登録** を押す
- ② **1** あ **4** た **2** か と順に押す
- ③ **停止** を押す

○10PPSにする

- ① **登録** を押す
- ② **1** あ **4** た **3** さ と順に押す
- ③ **停止** を押す

○自動で回線種別を設定する

- ① **登録** を押す
- ② **1** あ **4** た **4** た と順に押す

ナンバー・ディスプレイを契約していないときは

ナンバー・ディスプレイの設定を[使用しない]にしてください (132ページ)。

お知らせ

- ひかり電話や IP 電話を使用しているときは、一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。
- IP電話（インターネットサービスを使った電話）サービスや、構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンをご利用のときは、回線種別が正しく設定されないことがありますので、ご契約の回線種別をお確かめのうえ、あらためて設定してください（P.34 上記）。

インクリボンを確認する／交換する

ファクスやコピーのプリントに必要なインクリボンを確認／交換できます。

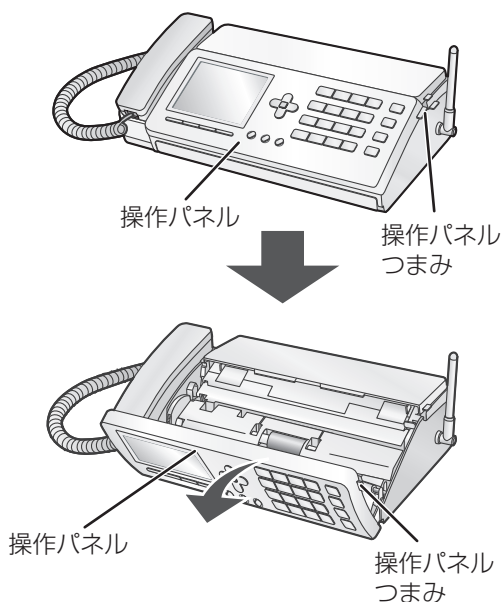
インクリボン（ギヤつきタイプ）は、必ず当社指定品をお使いください（☎ 181ページ）。

33mでA4原稿を最大で約105枚プリントすることができます。

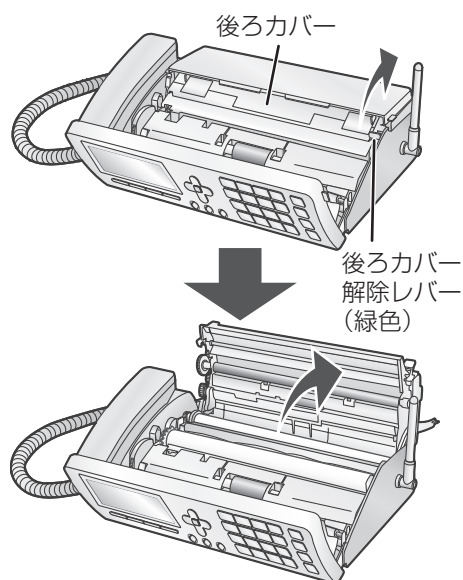
インクリボンを確認する (はじめてお使いになるとき)

インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。はじめてお使いになるときはインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。

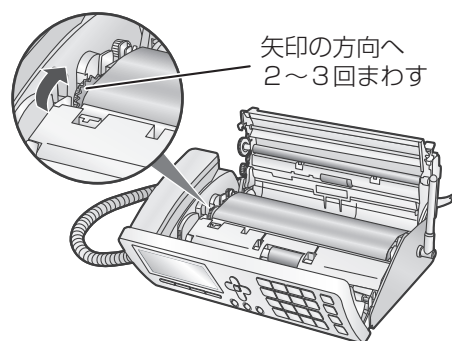
1 操作パネルつまみを持って、 操作パネルを前に起こす



2 後ろカバー解除レバー（緑色）を 押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす



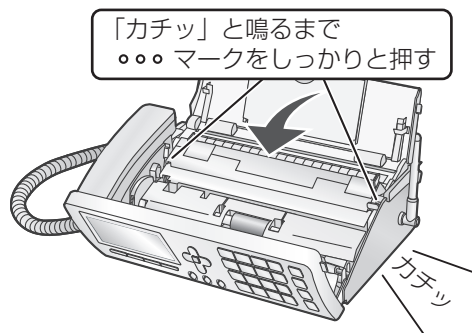
3 インクリボンのたるみを取る



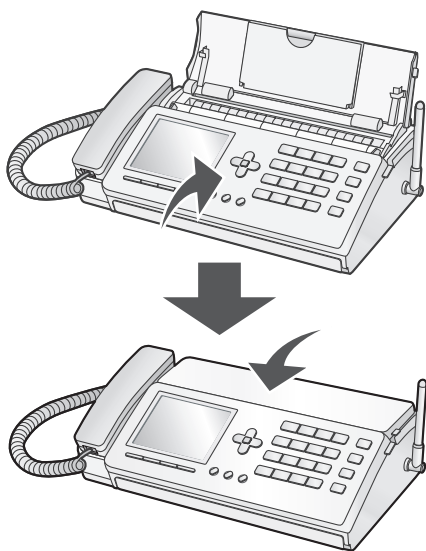
次ページへ

インクリボンを確認する／交換する

4 後ろカバーを閉める



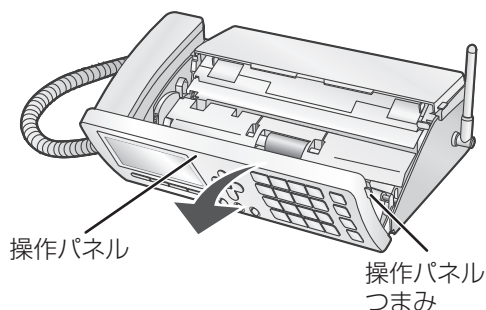
5 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



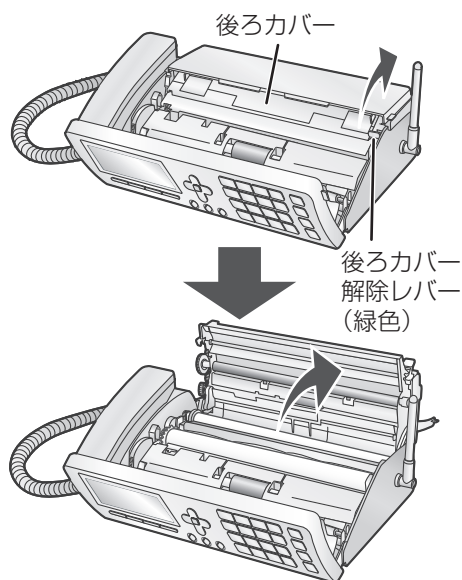
使用済みのインクリボンを交換する

インクリボンがすべて手前側の芯に巻き取られていたら、新しいインクリボンに交換します。
記録紙がセットされているときは、いったんすべて取り出します。

1 操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす



2 後ろカバー解除レバー（緑色）を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす

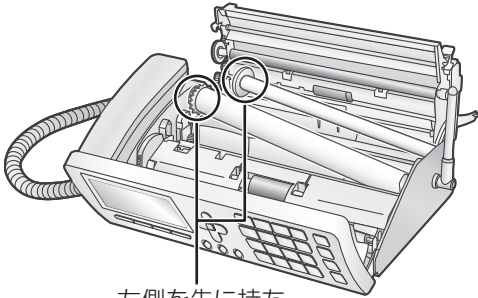


次ページへ

に使用の前に

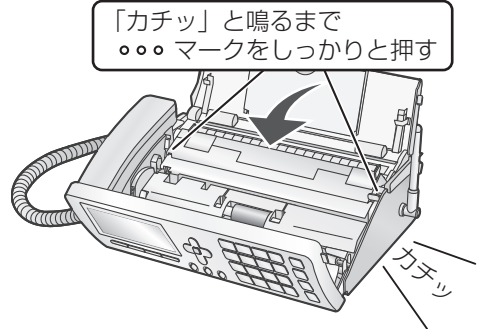
インクリボンを確認する／交換する

3 使用済みのインクリボンを取り出す



左側を先に持ち上げて取り出す

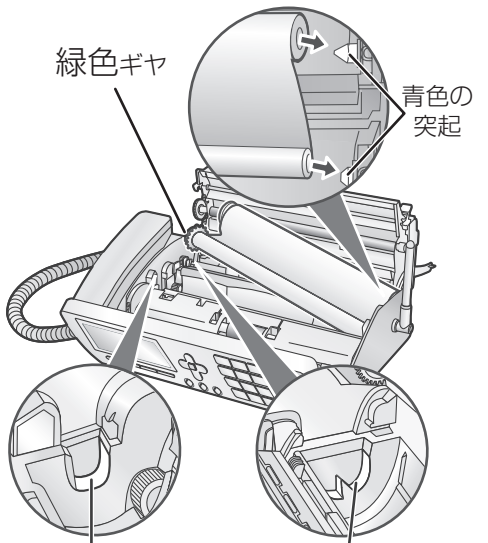
6 後ろカバーを閉める



「カチッ」と鳴るまで
○○○ マークをしっかり押す

カチッ

4 新しいインクリボンを、青色の突起に差し込んでから取り付ける



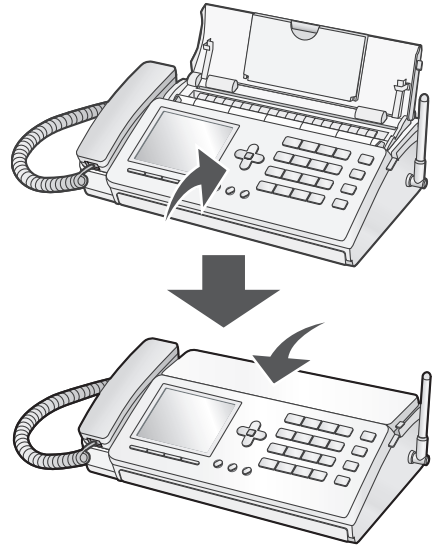
緑色ギヤ

青色の突起

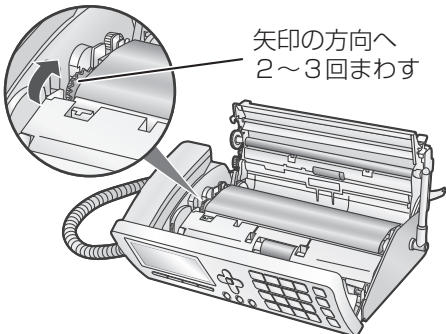
この溝に緑色ギヤの軸が乗る

この部分に白色ギヤの軸が乗る

7 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



5 インクリボンのたるみを取る



矢印の方向へ
2～3回まわす

●お知らせ●

- [インクリボンがありません] の表示が約10秒以上たっても消えないときは、インクリボンがたるんでいます。もう一度後ろカバーを開けて、インクリボンのたるみを取ってください。
- 使用済みのインクリボンには、コピーや受信ファクスの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り刻んでから、捨ててください。
- 使用済みのインクリボンは「燃えないゴミ」として捨ててください（地域によっては「燃えるゴミ」として取り扱われている場合もあります）。
 - ・インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。
 - ・インクリボンの芯やギヤは、ポリスチレン、ポリアセタール、金属などでできています。

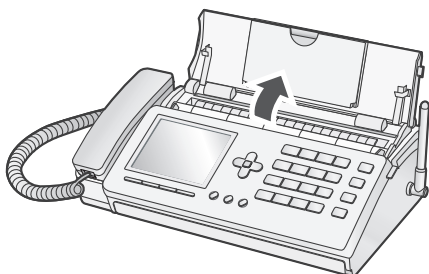
記録紙のセットのしかた

A4サイズの記録紙をセットします。一度に15枚まで、記録紙をセットできます。

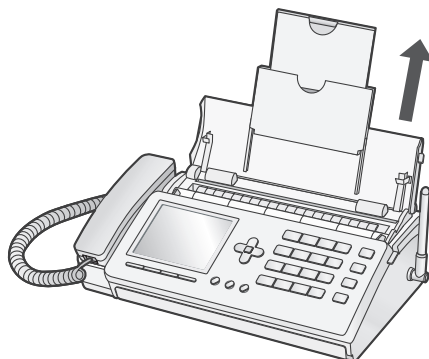
記録紙はA4サイズの当社指定品（☎ 181ページ）をお買い求めください。
指定品以外の記録紙やコピー用紙を使用するとプリントがかすれたり、濃く、または薄くなることがあります。

記録紙をセットする

1 記録紙トレイを開ける



2 延長トレイを引き出す

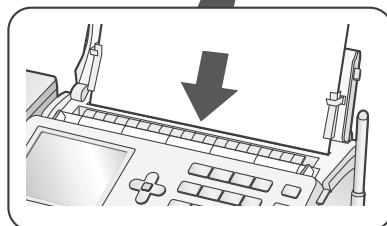
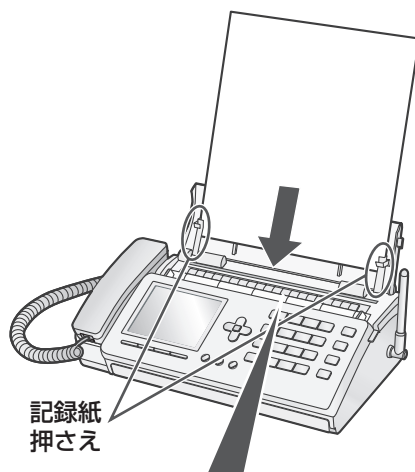


記録紙を追加するときは

いったん記録紙をすべて取り出してから、再度セットしてください。
プリント中は、記録紙をつぎ足ししないでください。

☎ 記録紙がつまったときは（☎ 158ページ）

3 記録紙押さえの間に、印刷する面を ウラ向きにして、記録紙をセット する



- ・ご使用にならないときは、記録紙トレイを確実に閉めてください。
- ・紙づまり防止のため、記録紙はよくさばいて、先端をそろえてからセットしてください。また、セットするときは強く差し込まないでください。
- ・記録紙が壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。

●お知らせ●

- しわや折り目が付いていたり、そっていたり、破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- できるだけファクスを使うときだけ記録紙をセットしてください。長期間、記録紙をセットしたままにすると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。
- 一度使用した裏紙はセットしないでください。

子機を充電する／電池パックを交換する

通話時間について

いっぱい充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は、通話状態で**約6時間**です。

●通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、子機のディスプレイに**要充電**が表示され“ピッピッ…”と警報音が鳴ります。通話中のときは、約1分後に通話が切れます（子機のディスプレイに**[電池残量がありません]**と表示されます）。この場合、通話中のときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話してください。登録操作中のときは、充電してください。

電池残量を確認したいときは

- ① を押す
- ② で **[電池残量]** を選び を押す

アラーム
電話帳転送
▶電池残量

・ディスプレイの表示と電池パックの残量については、以下の通りです。

- 残量 ■■■■ : 充分に残っています。
残量 ■■ : 少なくなっています。
残量 ■ : ほとんどありません。すぐに充電してください。

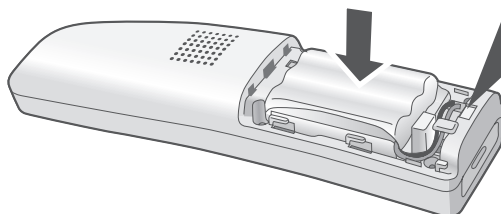
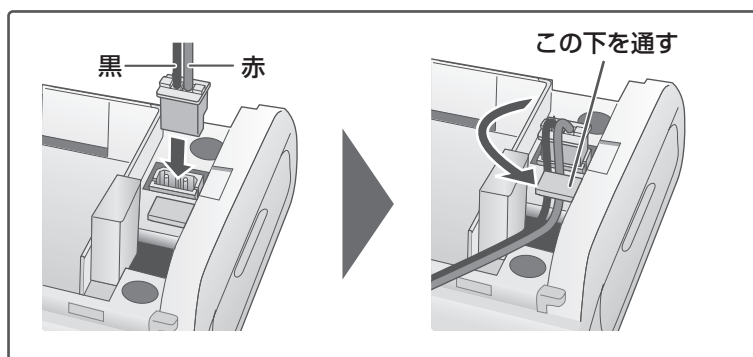
ディスプレイに**要充電**や**[電池残量がありません]**と表示されているときは、使用できません。10時間以上、充電してからお使いください。

充電が完了すると**要充電**は消えます（ただし、充電が完了する前に子機を充電器から取り上げて戻したときも**要充電**は消えます）。

電池パックをセットして子機を充電する

はじめてお使いになるときは、必ず**10時間以上充電**してください。

1 電池パックのコネクタを接続して、電池パックを子機にセットする



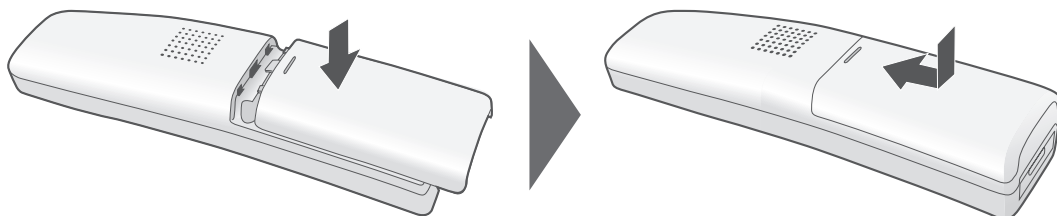
⚠ 警告

電池パックのビニールカバーをはがしたり、キズをつけないでください。
電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

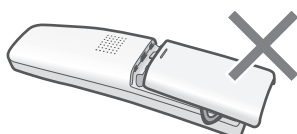
次ページへ

子機を充電する／電池パックを交換する

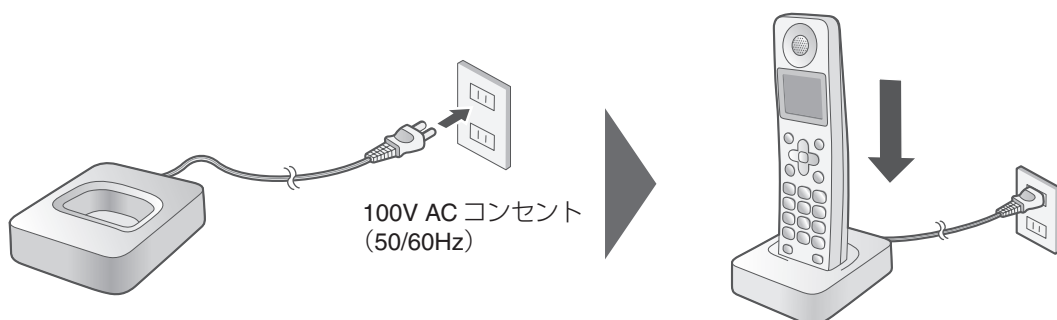
2 電池カバーを取り付ける



コードをはさまないようご注意ください。



3 充電器の電源コードを接続し、子機を充電器に置いて充電する



- ・初めて使用するときには、必ず**10時間以上**充電してください。
- ・親機の日時を設定していると、転送されて自動的に子機の日時が設定されます。
- ・充電中は、ディスプレイに [充電中] と表示されます（充分に残っている状態から充電した場合は、表示されません）。

●お知らせ●

- P-266SDw をお使いのときや、P-266SD に子機を増設してお使いのときは、子機どうしが近付きすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。
- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。充電のしすぎで故障することはありません。
- 充電中は充電部や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。
- 電磁誘導による充電の方式をとっています（無接点充電）。AMラジオなどが近くにあると雑音が聞こえることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また親機で通話／通信中のときも雑音やノイズが入ることがありますので、親機と充電器を50cm以上離してご使用ください。
- 電磁波や磁力を出すものの近くで充電しないでください。充電ができない場合があります。

に使用の前に

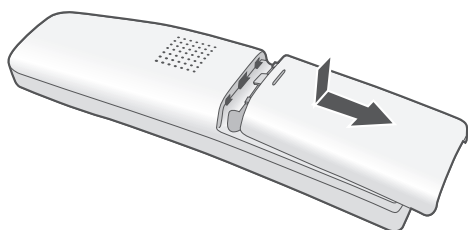
子機を充電する／電池パックを交換する

電池パックを交換する

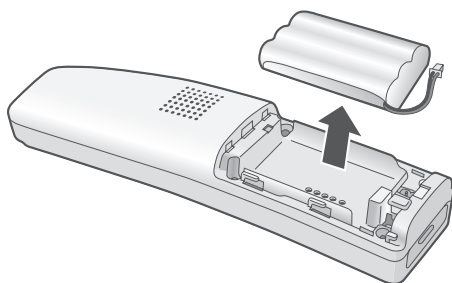
電池パックは約2年程度で交換してください

子機に内蔵している専用の電池パックは消耗品です。使用頻度にもよりますが、約2年程度で電池パックの容量が減少していきます。長時間充電してもすぐに電池パックの容量がなくなるときには、新しい別売りの電池パック(☎ 181ページ)に交換してください。

1 電池カバーを外す



2 電池パックを取り外す



3 新しい電池パックを入れる

・「電池パックをセットして子機を充電する」(☎ 36～37ページ)の**1～3**を参考に、新しい電池パックを入れて10時間以上充電してください。

電池パックのリサイクルご協力をお願い

この商品には、ニッケル水素電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。



ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

- 交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてください。
- リサイクル協力店へのお問い合わせは、下記へお願いいたします。
 - この商品またはニッケル水素電池をお買い求めになった販売店または当社のサービス取扱所
- 電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。
- リサイクル時のご注意
 - 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
 - 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
 - 電池を分解しないでください。

操作ガイド

操作ガイド

3 を押すと、基本的なファクスの送受信の方法やエラー表示についての説明がディスプレイに表示されます。

操作ガイドの目次画面	
+ 液晶操作ガイド 知りたい項目を選んで「決定」を押してください ①ファクスを送るとき ②子機でファクスを受けるには ③「受信FAXがあります」 ④「録音があります」 ⑤「伝言があります」 ⑥受信FAXを印刷する ⑦コピーをする ⑧エラー表示のとき ⑨交換用インクリボンの型番	①②ファクスの基本的な送受信操作 ③⑥受信データの確認／プリント操作 ④⑤録音内容の再生操作 ⑦コピーの操作 ⑧エラー対応 ⑨交換用インクリボンのご案内

使用の前に
操作ガイド

操作ガイドで使用するボタンについて

-  : 項目の選択
-  : 項目の決定
- 目次へ** : 目次画面を表示
- 次ページ** : 次の画面を表示
- 前ページ** : ひとつ前の画面を表示
- 音声切替** : 操作ガイドの音声での読み上げ（音声ガイド）の設定／解除を変更

音声ガイドについて

操作ガイドの内容を音声で読み上げます。
読み上げを設定するときは、**音声切替** を押してください（解除するときは、もう一度 **音声切替** を押してください）。

+

液晶操作ガイド

知りたい項目を選んで「決定」を押してください

①ファクスを送るとき

②子機でファクスを受けるには

音声ガイド

音声ガイドが設定されているときに表示されます。

読み上げた音声ガイドをもう一度聞くとときは、**再生** を押してください。

画面にメッセージが表示されているときは



上図のように、待受画面に**操作ガイド**と表示されているときに **3** を押すと、対応を案内する操作ガイドが表示されます。

目次画面を表示したいときは **目次へ** を押してください。

メッセージが表示されていないときに **3** を押すと、目次画面から表示します。

- **お知らせ**
- 音声ガイドの音声は、音声合成システムで作ったものです。肉声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。

日付と時刻を設定する

日付と時刻を設定することができます。

親機の日付と時刻を設定すると、自動的に子機に転送されます。親機の時計を転送して子機の時計を設定したり、子機の時計を転送して親機の時計を設定したりすることもできます。

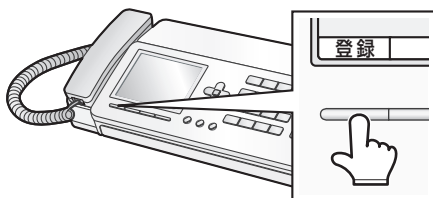
使用の前に

日付と時刻を設定する

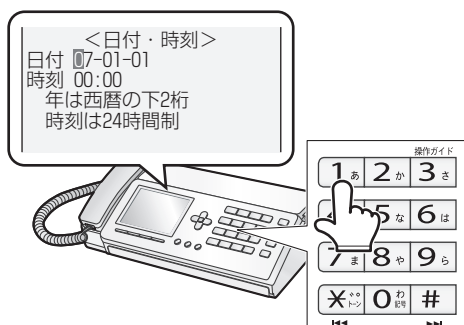
親機の日付と時刻を合わせる

日付や時刻表示を合わすときは、次の操作を行います。

1 **登録** を押す

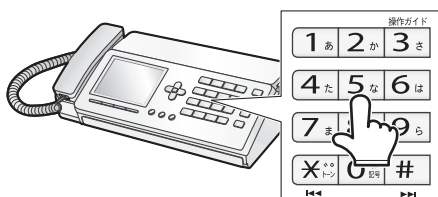


2 **1 あ 1 あ** と順に押す



3 ダイヤルボタンで日付を入力する

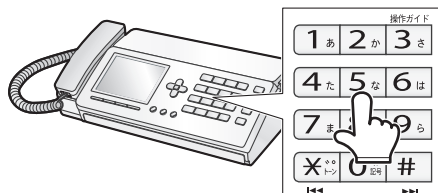
例： **0** **7** **0** **7** **2** **4**
2007年 7月 24日



- ・年は、西暦年の下二ケタで入力します。
- ・数字を入れまちがえたときは、**取消** でまちがえた数字まで戻り、あらためて入力します。

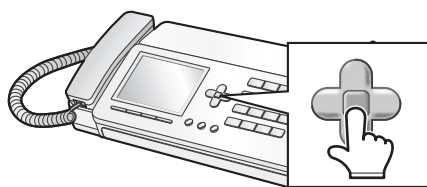
4 ダイヤルボタンで時刻を入力する

例： **1** **5** **4** **5**
午後3時 45分

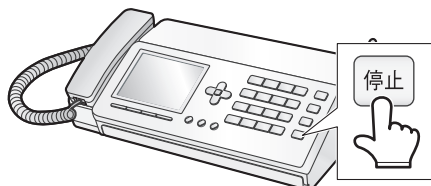


- ・時間は、24時間制で入力します。
- ・数字を入れまちがえたときは、**取消** でまちがえた数字まで戻り、あらためて入力します。

5 **+ (十字)** を押す



6 **停止** を押す



- ・親機の日付や時刻を登録すると、自動的に子機に日付や時刻が転送されます（時計バックアップ（※174ページ）が、[使用する] に設定されているときのみ）。子機に日付や時刻を登録していても、自動的に転送されて親機の登録が上書きされます。

- ・途中でやめるとき： **停止**
- ・1つ前に戻るとき： **戻る** または **取消**

子機の日付と時刻を合わせる

子機の日時を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。

- ① を押す
- ② で [システム設定] を選び、 を押す

電話帳転送
電池残量
▶システム設定

- ③ で [日時登録] を選び、 を押す

▶日時登録
キータッチ音出力
クイック通話

- ④ ダイヤルボタンで日付を入力する
(年は西暦年の下二ケタ)

例：
2007年 7月 24日

- ⑤ ダイヤルボタンで時刻を入力する
(時間は24時間制)

例：
午後3時 45分

- ⑥ を押す

- ・途中でやめるとき：
- ・数字を入れまちがえたときは、 でまちがえた数字を選び、あらためて入力します。

親機に登録されている日付や時刻を子機に転送する（時計転送）

親機で操作します。

親機の日時が登録されていないときは、転送できません。

- ① を押す
- ② を4回押す
- ③ と順に押す

- ・途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき：
- ・子機が2つ以上あるときは、子機番号の1から順番に転送します。
- ・時計転送に対応していない子機を増設した場合は、日付や時刻は転送されません。

子機に登録されている日付や時刻を親機に転送する（時計転送）

親機で操作します。

子機の日時が登録されていないときは、転送できません。

- ① を押す
- ② を4回押す
- ③ と順に押す

- ・途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき：
- ・親機に日付や時刻を転送する子機は、子機番号の1です。ただし、子機1が使用範囲外にあるなど、転送できない場合は、番号2から転送されます。すべての子機が転送できないときは、転送せずに終了します。

停電などで親機の日時登録が消えたときは

電源が入ると、自動的に子機から日付や時刻を転送して、親機の日時を登録します。

時計転送を行わないようにするには、「時計バックアップ」(P174ページ)を[使用しない]に設定してください。

お知らせ

- 時計の精度は、1カ月に±60秒程度の誤差があります(25℃の常温の場合)。時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
- 子機の電池パックのコネクタが外れたり、電池パックの容量がなくなると、設定した日時は消えてしまいます。子機の充電を行ってください。親機の日時が登録されていて、「時計バックアップ」(P174ページ)が[使用する]に設定されているとき、子機が充電されると、親機から自動的に日時が登録されます。

自分の番号・名前を登録する

親機には、自分の番号や名前を登録することができます。
子機には、使う人の名前を登録することができます。

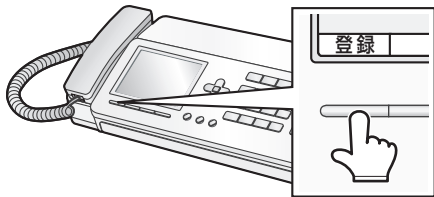
使用の前に

自分の番号・名前を登録する

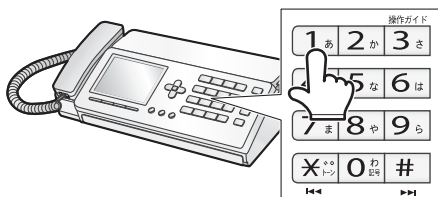
あなたの電話番号（発信元番号）を登録する（親機）

登録した電話番号は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。

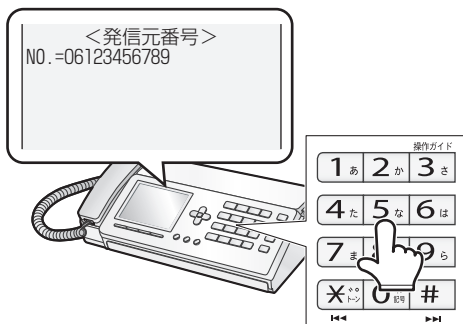
1 **登録** を押す



2 **1 あ 2 か 1 あ** と順番に押す

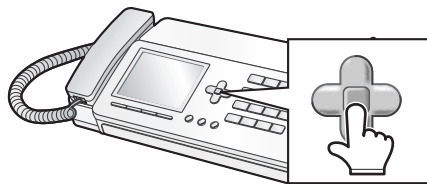


3 ダイヤルボタンで電話番号を入力する（最大20ケタ）

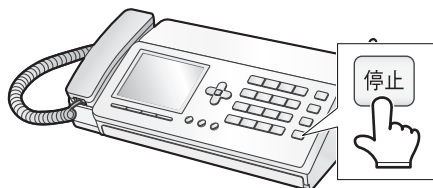


・番号を入れまちがえたときは、**取消** で消去してから、あらためて入力します。

4 **+** を押す



5 **停止** を押す



・登録した番号を変更したいときは、一度消去してからあらためて登録してください。

・途中でやめるとき： **停止**

・1つ前に戻るとき： **戻る** または **取消**

親機に登録した番号を消去するとき

① **登録** を押す

② **1 あ 2 か 2 か** と順に押す

③ **2 か** を押す

④ **停止** を押す

・途中でやめるとき： **停止** / 1つ前に戻るとき： **戻る**

自分の番号・名前を登録する

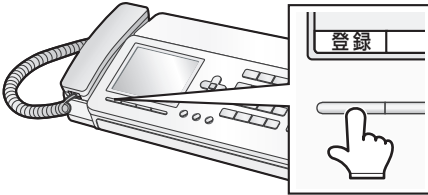
に使用の前に

自分の番号・名前を登録する

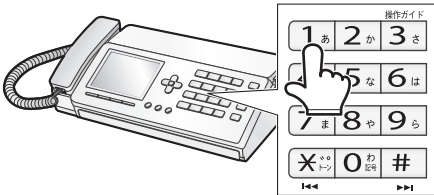
あなたの名前（発信元名）を登録する（親機）

登録した名前は、電話番号と同じく相手の方の記録紙にプリントされます。

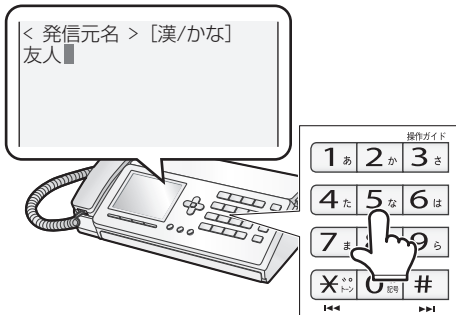
1 **登録** を押す



2 **1** **あ** **3** **さ** **1** **あ** と順に押す

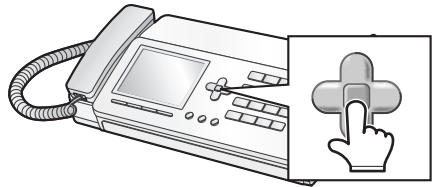


3 **ダイヤルボタンで名前を入力する（最大全角12文字／半角24文字）**

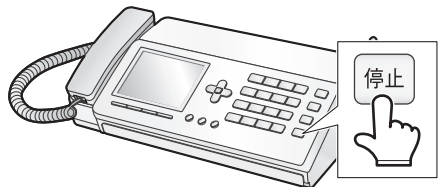


- ・文字を入力するには（☎74～75ページ）
- ・文字を入れまちがえたときは、**取消** で消去してから、あらためて入力します。

4 **+** を押す



5 **停止** を押す



・登録した名前を変更したいときは、一度消去してからあらためて登録してください。

・途中でやめるとき： **停止**

・1つ前に戻るとき： **戻る** または **取消**

親機に登録した名前を消去するとき

① **登録** を押す

② **1** **あ** **3** **さ** **2** **か** と順に押す

③ **2** **か** を押す

④ **停止** を押す

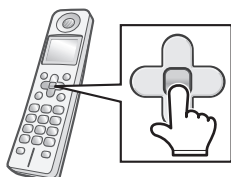
・途中でやめるとき： **停止** / 1つ前に戻るとき： **戻る**

自分の番号・名前を登録する

使う人の名前を子機に登録する

登録した名前は、待受時にディスプレイに表示されます。
親機と子機が電波の届く範囲になかったり、親機が使用中のときは、子機での登録を行うことができません。

1 を押す

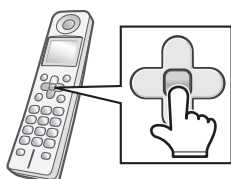


2 で [システム設定] を選ぶ

電話帳転送
電池残量
▶システム設定



3 を押す

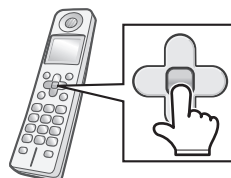


4 で [使用者表示] を選ぶ

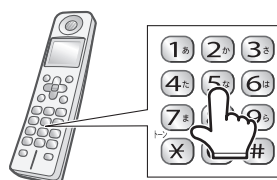
キータッチ音出力
クイック通話
▶使用者表示



5 を押す

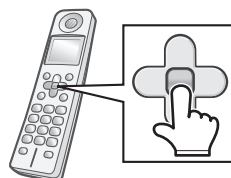


6 ダイヤルボタンで名前を入力する (最大全角5文字／半角10文字)



・文字を入力するには (☎ 74~76ページ)

7 を押す



・登録した名前を変更したいときは、手順 **1** からやりなおしてください。

・途中でやめるとき:  切

子機に登録した名前を消去するとき

① 手順 **6** の名前の入力画面で、入力した文字を

内線/クリア
 ですべて消す

②  を押す

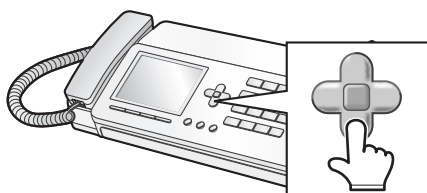
音の設定を変える

親機や子機から鳴る音の音量や音色などを設定できます。

親機の着信音の大きさを変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変えることができます。

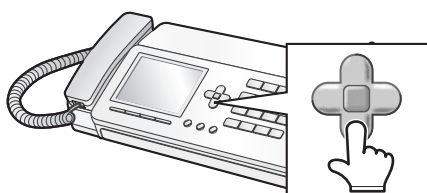
- 1** 受話器を置いたまま  着信/スピーカー音量
押すごとに切替：5段階



- ・はじめは「3段階目」に設定されています。
- ・はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと、音量を変更できます。
- ・音量の設定は表示されませんので、音を聞きながら設定してください。

親機の着信音を鳴らさないようにする

- 1** 受話器を置いたまま  を
「ピー」と鳴るまで約5秒間押し続ける

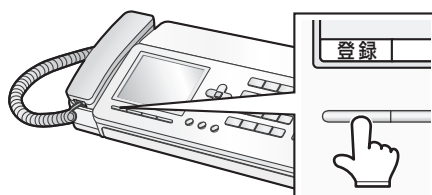


- ・もう一度  を押すと、最小の音で鳴らす設定になります。
- ・「鳴らさない」にすると、ディスプレイに **着信音切** が表示されます。

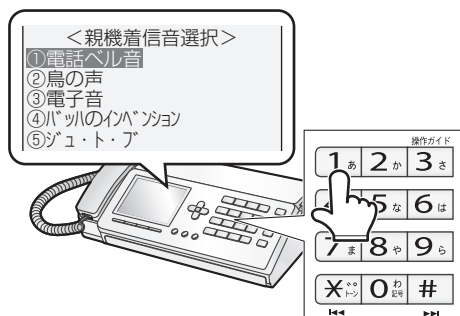
親機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音色を変えることができます（9種類）。

- 1**  を押す



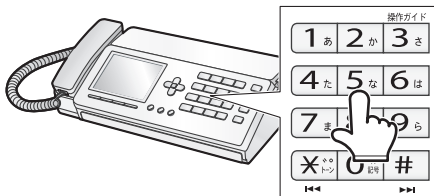
- 2**   と順番に押す



次ページへ

3 1 あ ~ 9 ら で、着信音色を選ぶ

1 あ	電話ベル音
2 か	鳥の声
3 さ	電子音
4 た	バッハのインベンション
5 な	ジュ・ト・ブ
6 は	シンフォニー 40 番
7 ま	ショートメロディ 1
8 や	ショートメロディ 2
9 ら	ショートメロディ 3

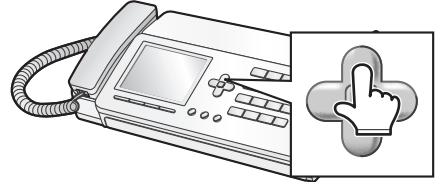


・はじめは [電話ベル音] に設定されています。

親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる音量を変えることができます。

1 通話中に を押す 押すごとに切替：5段階

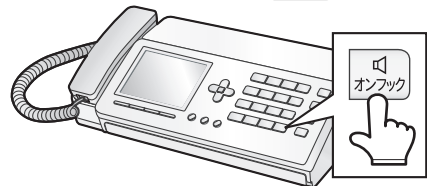


- ・はじめは「2段階目」に設定されています。
- ・はじめに 1 回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと、音量を変更できます。

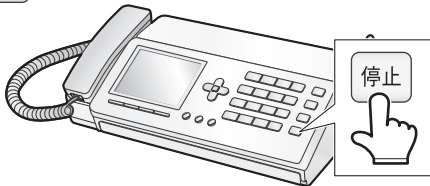
親機のスピーカー音量を変える

録音再生時の音量や、通信時の音声ガイダンスの音量、留守録の応答メッセージの音量を変えることができます(それぞれの音量を個別に変えることはできません)。

1 受話器を置いたまま を押す



4 停止 を押す



- ・途中でやめるとき： 
- ・1 つ前に戻るとき： 

設定した着信音を確認するとき



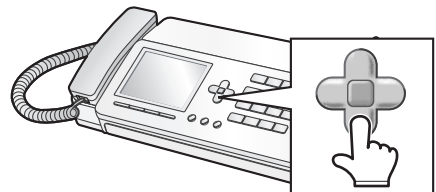
●お知らせ●

- 着信音を鳴らさない設定にしている、他の子機からの着信音は最小の音量で鳴ります。
- 親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定をしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。

2 を押す

着信/スピーカー音量

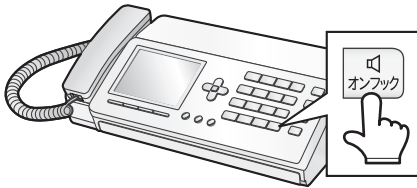
押すごとに切替：5段階



- ・はじめは「3段階目」に設定されています。
- ・はじめに 1 回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと、音量を変更できます。

次ページへ

3 を押す



親機送話音量を調整する

親機使用中、こちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます。

親機で操作します。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順番に押す
- ④ [小] を選ぶときは 
 [標準] を選ぶときは 
 [大] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す

子機送話音量を調整する

子機でこちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます。

親機で操作します。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順番に押す
- ④ [小] を選ぶときは 
 [標準] を選ぶときは 
 [大] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す

子機受話音量を調整する

親機の回線によっては、子機の受話音量が小さくなることがあります。子機で相手の方の声が聞こえにくいときに、親機で音量を切り替えることができます。子機で通話中に受話音量を変えることもできます (P.50ページ)。

親機で操作します。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順番に押す
- ④ [小] を選ぶときは 
 [標準] を選ぶときは 
 [大] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す

子機受話音質を調整する

すべての子機の受話音の音質を調整できます。使用中の子機のみ変更したいときは、「子機の通話音質を変える」(P.50ページ)をご覧ください。

親機で操作します。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順番に押す
- ④ [低い] を選ぶときは 
 [標準] を選ぶときは 
 [高い] を選ぶときは  を押す

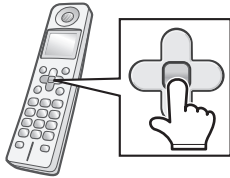
 IP電話やADSL、ISDN (INSネット64) などをご利用のときに、電話の音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなることがあります。

このようなときには、上記の「親機送話音量を調整する」「子機送話音量を調整する」「子機受話音量を調整する」をそれぞれ「小」に設定すると、通話品質が改善されることがあります。

子機の着信音の大きさを変える ／鳴らさないようにする

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変えることができます。

1 を押す

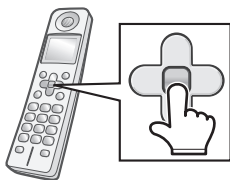


2 で [着信音量] を選ぶ

留守番電話
優先呼出
▶ 着信音量



3 を押す



4 で 着信音量の大きさを

○ [大]

○ [標準]

○ [小]

○ [切]

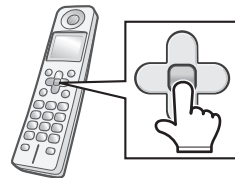
から選ぶ



・はじめは [標準] に設定されています。

・[切] にすると、ディスプレイに 着信音  が表示されます。

5 を押す



・途中でやめるとき:  切

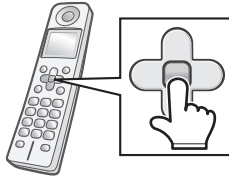
● お知らせ ●

- 子機の呼出音は親機と同じタイミングでは鳴りません。
- 着信音を鳴らさない設定にしても、親機や他の子機からの着信音は子機では [小] の音量で鳴ります。
- 優先呼出 (P. 128ページ) を設定した子機の着信音量を [切] にしているときは、外から電話がかかってきても、親機、子機ともに着信音は鳴りません。
- 親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定をしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。

子機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音色を変えることができます（10種類）。

1 を押す



2 で [着信音色] を選ぶ

優先呼出
着信音量
▶ 着信音色



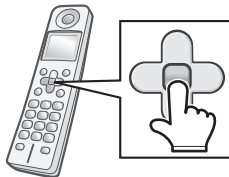
4 で 着信音色の種類を選ぶ

1	プルルル プルルル
2	ポロロロ ポロロロ
3	ピロン ピロン
4	ショートメロディ①
5	ショートメロディ②
6	ショートメロディ③
7	ショートメロディ④
8	ショートメロディ⑤
9	ジムノペティ
10	ジュピター

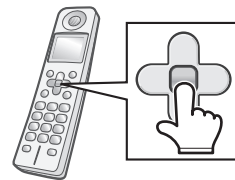


- ・曲名はディスプレイには表示されません。音を聞きながら設定してください。
- ・はじめは「プルルル プルルル」に設定されています。

3 を押す



5 を押す



- ・途中でやめるとき：  切

音の設定を変える

子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる音量を変えることができます。

1 通話中に を押す

押すごとに切替：4段階



- ・はじめは「2段階目」に設定されています。
- ・聞こえにくいときは、さらに親機の設定で変更することもできます(☎47ページ「子機受話音量を調整する」)。

子機のスピーカー音量を変える

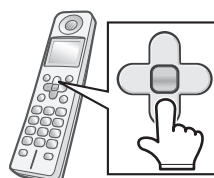
録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音量を変えることができます。

1 を押す



2 通話中に を押す

押すごとに切替：4段階



- ・はじめは「2段階目」に設定されています。

子機の通話音質を変える

受話口から聞こえてくる音質を変更できます。

1 通話中に を押す

押すごとに切替

- ☐ [高い] (高音を強調する)
- ☐ [低い] (低音を強調する)
- ☐ [標準]



- ・通話を終了しても設定を保持します。ただし、子機の電池が切れると、設定は消去されます。
- ・すべての子機の通話音質を変更したいときは、「子機受話音質を調整する」(☎47ページ)をご覧ください。
- ・[標準] を選ぶと、「ピーピッ」と鳴ってお知らせします。
- ・ を押したときに、[高い] [低い] [標準] が約5秒間表示されます。

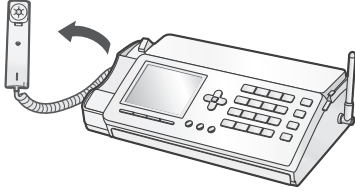
3 を押す



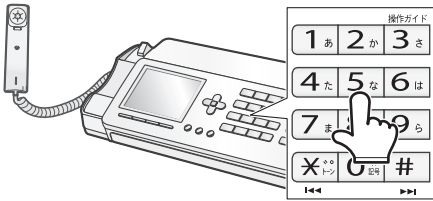
電話をかける・受ける・かけ直す

親機で電話をかける

1 受話器を取る



2 ダイヤルボタンで、電話番号を押す

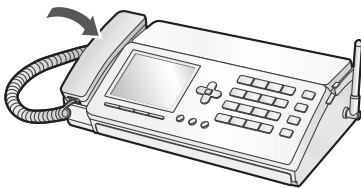


・まちがいの電話を防ぐために「ツー」という音を確認した後、ダイヤルしてください。

3 相手の方とお話する

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 通話が終わったら受話器を戻す



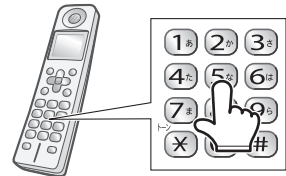
子機で電話をかける

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 子機を充電器から取る



2 ダイヤルボタンで、電話番号を押す



3 通話ボタンを押す



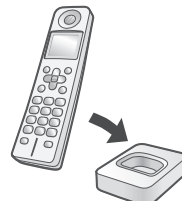
4 相手の方とお話する

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

5 通話が終わったら 切 を押す

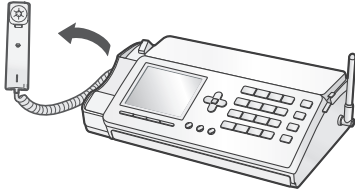


6 充電器に戻す



親機で電話を受ける

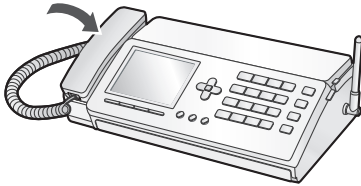
1 電話がかかってきたら受話器を取る



2 相手の方とお話する

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

3 通話が終わったら受話器を戻す



✎ 着信音の大きさを変えるときは
親機の着信音の大きさを変える (145ページ)
子機の着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする (148ページ)

✎ 子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けるには (クイック通話 128ページ)

✎ 通話中にお待たせするときは (保留 52ページ)

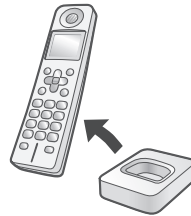
✎ 子機で通話中、雑音が入るようなときは (電波サポート 52ページ)

✎ ナンバー・ディスプレイの契約をすると……

- 電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などが液晶画面に表示されます (133ページ)。
- 子機で相手の方を確認して電話に出たくないときは、 を押し、子機の着信音を止めることができます。
親機の着信音は鳴ります。

子機で電話を受ける

1 電話がかかってきたら子機を充電器から取る



2 を押す

通話



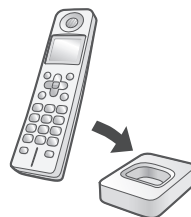
3 相手の方とお話する

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 通話が終わったら を押す



5 充電器に戻す

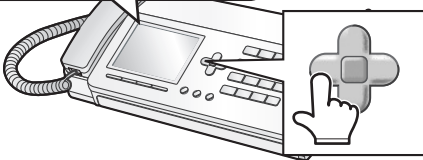


親機で電話をかけ直す (再ダイヤル)

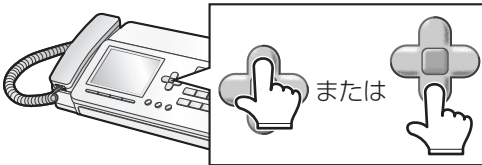
相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。親機では、以前かけた番号のうち新しいものが20件まで記憶されます。

1 再ダイヤル/着信記録 を押す

再ダイヤル	2007年 7月24日(火)	3:45pm
7/24	3:15pm	友人
7/24	10:13am	090987654321
7/23	9:38pm	06123456789

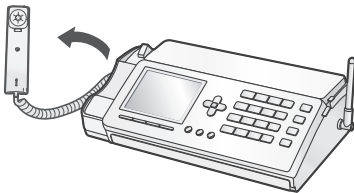


2 でかけ直したい番号を選ぶ



・親機で再ダイヤルできる番号は 32 ケタまでです。

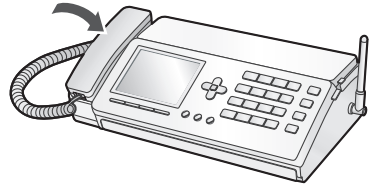
3 受話器を取る



4 相手の方とお話する

- ・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

5 通話が終わったら受話器を戻す



受話器を取ったあと、再ダイヤルで電話をかけ直すときは

受話器を取ってから再ダイヤルを押すと、1 番最後にかけた電話番号を使ってかけ直します。

- ① 受話器を取る
- ② 再ダイヤル/着信記録 を押す
- ③ 相手の方とお話する
- ④ 通話が終わったら受話器を戻す

親機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するときは

- ① 再ダイヤル/着信記録 を押す
- ② で消去したい番号を選ぶ
- ③ キャッチ/消去 を2回押す

親機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは

- ① **キャッチ / 消去** を押す
- ② **2** か **2** か と順に押す

親機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは

- ① **再ダイヤル / 着信記録** を押す
- ② **+** で登録したい番号を選ぶ
- ③ **新規登録** を押す
- ④ ダイヤルボタンで名前を入力して **+** を押す
(P.74～75ページ)
- ⑤ 読みを確認して **+** を押す
- ⑥ 第1番号を確認して **+** を押す
- ⑦ 第2番号を入力して **+** を押す (省略可)
- ⑧ **停止** を押す

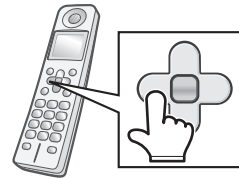
子機で電話をかけ直す (再ダイヤル)

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。子機では、以前かけた番号のうち新しいものが10件まで記憶されます。

1 子機を充電器から取る



2 **+** を押す



3 **+** でかけたい番号を選ぶ



・子機で再ダイヤルできる番号は最大 32 ケタまでです。

4 **通話** を押す



次ページへ

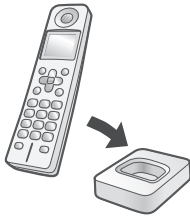
5 相手の方とお話する

- ・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

6 通話が終わったら を押す



7 充電器に戻す



- ・途中でやめるとき：  切

子機の再ダイヤルを1件ずつ消去するときは

- ①  を押す
- ②  で消去したい番号を選び  を押す
- ③  で [1件消去] を選ぶ

電話帳へ登録
▶1件消去
- ④  を2回押す

子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは

- ①  を押す
- ②  で [全消去] を選び  を押す

電池残量
システム設定
▶全消去
- ③  で [再ダイヤル] を選ぶ

▶再ダイヤル
着信記録
電話帳
- ④  を2回押す

子機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは

- ①  を押す
- ②  で登録したい番号を選び  を押す
- ③  で [電話帳へ登録] を選び  を押す
- ④ 名前を入力して  を押す (74～76ページ)
- ⑤ 読みを確認して  を押す
- ⑥ 第1番号を確認して  を押す
- ⑥ 第2番号を入力して  を押す (省略可)

●お知らせ●

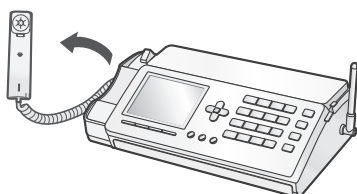
- 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。

親機と子機、子機と子機の間でお話する（内線通話）

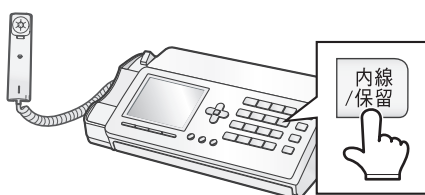
親機と子機、子機と子機の間でお話することができます。通話料はかかりません。

親機から子機を呼び出して お話する

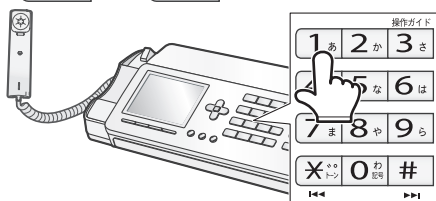
1 受話器を取る



2 内線/保留を押す



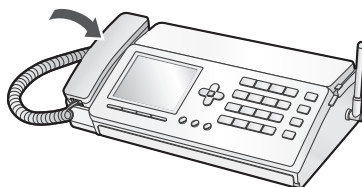
3 通話したい子機の内線番号 （1 あ ～ 4 た）を押す



- ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。
- ・相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・登録されているすべての子機を呼び出すときは、**※**を押してください。

4 相手の方とお話する

5 通話が終わったら受話器を戻す



子機で内線通話を受ける

- ① 呼び出し音が鳴ったら、子機を充電器から取る
- ②  を押す
- ③ 相手の方とお話する
- ④ 通話が終わったら  を押す
- ⑤ 充電器に戻す

・内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに  を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ビビビビ」と鳴って終了します。

親機と子機の間で通話中に外から電話 がかかってきたら

親機のスピーカーから着信音が、子機のスピーカーから「ピピッ ピピッ」という音が、それぞれ聞こえます。

親機で話すには

- ① 受話器を戻す
- ② 再び受話器を取る

子機で話すには

- ①  を押す
- ② 子機の着信音が鳴ったら、 を押す

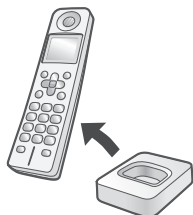
親機と子機、子機と子機の間でお話する（内線通話）

電話

親機と子機、子機と子機の間でお話する（内線通話）

子機から親機や子機を呼び出してお話する

1 子機を充電器から取る

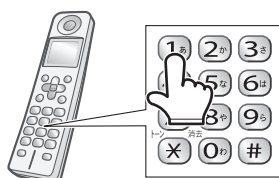


2 内線/クリア 保留を押す



3 ○ 親機にかける：0を押す

○ 子機にかける：通話したい子機の内線番号（1～4）を押す



- ・子機と子機での内線通話は、P-266SDwをお使いのとき、またはP-266SDに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。
- ・相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機が使用者登録（P.44ページ）をしていると、その名前が表示されます。番号が分からないときは、通話したい子機の使用人名を十字キーで選んで十字キーを押してください。

4 相手の方とお話する

- ・子機と子機の間での内線通話は親機を通して行われますので、子機と子機が近くても、親機から離れているときは、通話できないことがあります。

5 通話が終わったら 切を押す



6 充電器に戻す

親機で内線通話を受ける

- ① 呼び出し音が鳴ったら、受話器を取る
- ② 相手の方とお話する
- ③ 通話が終わったら、受話器を戻す

・内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに「停止」を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ビピビピ」と鳴って終了します。

●お知らせ●

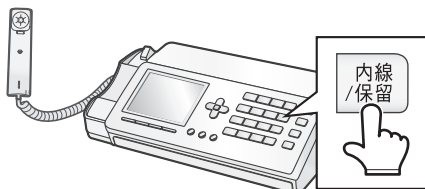
- 内線通話では、保留はできません。
- 子機では、内線通話中に  を押して、スピーカーホンで通話することができます。
- 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
- 内線通話の着信音色を変えることはできません。
- 子機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は「小」の大きさを鳴ります。
- 親機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は最小の大きさを鳴ります。

電話をとりつぐ／3人で電話でお話する（3者通話）

電話がかかってきたときに、親機から子機へ、または子機から親機へと電話をとりつぐことができます。また、外の相手の方とお話し中に、内線電話と外の相手との3人でお話しすることもできます。

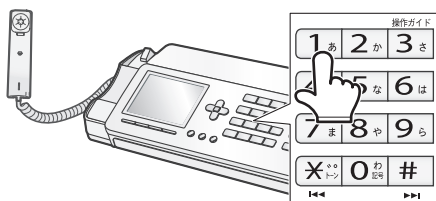
親機で通話中に内線で呼び出してとりつぐ／3者通話する

1 外線通話中に を押す



・ 相手の方は保留状態になります。

2 とりつぎ／3者通話したい子機の内線番号（1 あ ～ 4 た）を押す



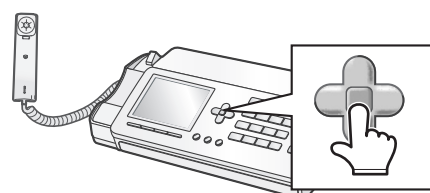
- ・ 呼出中、または通話中に親機で外線通話に戻るときは、 を2回押してください。
- ・ 続けて他の子機の内線番号を押すと、呼び出す子機を変更できます。
- ・ 相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・ 登録されているすべての子機を呼び出すときは、 を押してください。

3 内線通話でお話する

- 電話をとりつぐときはとりつぐことを伝え、受話器を戻す

- 外の相手の方と3人でお話しするときは（3者通話）

 を押す → 4 へ



- ・ 呼び出された子機で  を押しても、3者通話はできません。

4 3者通話をする

- ・ 親機または子機のどちらかが電話を切っても、もう一方の親機または子機は続けて外線と通話ができます。
- ・ 3者通話中は、保留を行うことができません。3者通話している親機と子機、または子機と子機のうち、どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。

子機で内線通話を受け、3者通話をする

- ① 呼び出し音が鳴ったら、子機を充電器から取る
- ②  を押す
- ③ 呼び出した側が操作したら、3者通話をする
- ④ 通話が終わったら  を押す
- ⑤ 充電器に戻す

- ・ 内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに  を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

電話をとりつぐ／3人で電話でお話する（3者通話）

子機で通話中に内線で呼び出してとりつぐ／3者通話する

1 外線通話中に 内線/クリア 保留 を押す

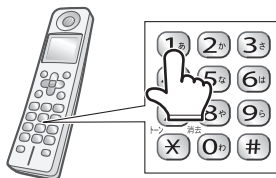


・ 相手の方は保留状態になります。

2 とりつぎ／3者通話したい相手の内線番号を押す

○ 親機にかける：0 わ を押す

○ 子機にかける：相手の子機の内線番号（1あ ～ 4た）を押す

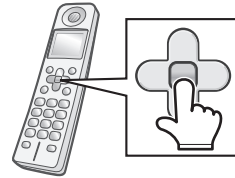


- ・ 子機と子機での内線通話は、P-266SDwをお使いのとき、またはP-266SDに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。
- ・ 呼出中、または通話中に外線通話に戻るときは、内線/クリア 保留 を2回押してください。または 内線/クリア 保留 を押したあと、通話 を押してください。
- ・ 相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・ 子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機が使用者登録（P.44ページ）をしていると、その名前が表示されます。番号が分からないときは、通話したい子機の使用名を 通話 で選んで 通話 を押してください。

3 内線通話でお話する

- 電話をとりつぐときはとりつぐことを伝え、電話を切る
- 外の相手の方と3人でお話するときは（3者通話）

通話 を押す → 4へ



- ・ 呼び出された親機で 通話 を押しても、3者通話はできません。また、呼び出された子機で 通話 を押しても、3者通話はできません。

4 3者通話をする

- ・ 親機または子機のどちらかが電話を切っても、もう一方の親機または子機は続けて外線と通話ができます。
- ・ 3者通話中は、保留を行うことができません。3者通話している親機と子機、または子機と子機のうち、どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。

親機で内線通話を受け、3者通話をする

- ① 呼び出し音が鳴ったら、受話器を取る
- ② 呼び出した側が操作したら、3者通話をする
- ③ 受話器を戻す

- ・ 内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに 停止 を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。